本館を直じのが針により古参社長本館を直じのが針により古参社長

きるべく、之に伴ふ人事兵動及び可を得たので懲々今明日中に最表

は二十九日午後は務衛の正式認

に目安を置いた譯で全部一應待二十年前後到めた高給者で今會 武を罷めても困らぬ人さいふの 質ぶこさにもたのである。大體

全部一應待命ごした

江口滿鐵副總裁談

者である、今回の整理で の歌中を得たので八月一 の歌中を得たので八月一

なほ社覚総典欧正は略極民地電東

件費の

節約四百萬圓

大淵支社長談

灰礦部次長 築島

一探院課長が炭礦部次長に決さた、

つれ、 お終後低に概でれる、 大に関村化學際でれる、 大に関村化學際

名も來のざ『撫順電話』

金理目標に

滿鐵の新職制と給與改正 務省認可指令 **一理事より内容説明**

給與「約二割減額

一世の原が様しこれを腕さら本日午 中なけばなら時宜に施したるものさ 吹ぎ及び絵典の吹正を腕行せんさ 後原家通り歌呼指令が養せられた

支社廢止等 全然誤傳

賞戦して居る者につき大淵滿鰕支が如き滿鰀新幹部の英節を撃つて ける一般質素家は快万島畑を除る一般質素をは大力の場合を

金田







なる勇退者

ける各部長より申渡す

計書部次長 向坊盛一郎

孫殿英軍と衝

中央軍は北海

不可能

中に緊都附近で一大衡

脚部使男氏(倫敦日本大使館員)

光三

延恒治則直

高砂政太郎 藤井十四三

中、孫軍が赴つたので中央軍の一笑が起るもの郷附近で中央軍で衝突し目下突 く二、三日本大津特僧廿九日豊国 孫殿英軍は一受け死に続い 石友三雷

南氏が打電

三宅亮三郎

久保田忠吉 入江正太郎

龍造

の背後に減り保定契都方配と一大変線の勢像方配に進出と存る場合を表現した。

北平にある吴銀

萬寶山交涉

味の楽よりはききめがなかった。

0

北調体に日本をだしに使ふ、

食ふばめの死物狂ひの戦争かさ

を受ける。 を対し、 をできる。 を対し、 をし、 を対し、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を 斯軍人を見かい。 関係したら、様女三天歌で三千萬 である。

佛はいひ。 一つたら今度は共興でも暴民でも 漢口日本租外館ぶら、又かさ 豆鍋碗でも個面のは恐ろといさ 水だった。

血の機ださ思ったら、

政友調查員

袖珍戦闘艦の中止を

あす來連の豫定

人間はるびん鬼で師

んなのなら切られて見たい。

満洲産婆の資 内地と同様に改

森下知次郎

抄らず

軍人さんで

我世もめやうさいふが針であるら 常知と原性の機能を除り端から選 がある。

で動か、髪の腱さんのやうよ。」

かう云つて自分でも嫁しさうに笑いい。こんなこと云ふの髪ですけざれしますから。」 ひ、「でもお嫁さまお名媛惜いの しけっこんなこと云ふの髪ですけざ おあるないなどと云つたことな 思い 出し 晩お兄様がいらつしやつて、遺女 かり云ふの歌声など容易に使けな いのいつも本當のことばかり云

とい所があるのであつた。 しかし監の解生活は、決して彼好 へ解りたいさいふ、さういふ飲み 恐ろしいやうな所もあつたが、 して何時望方も無い危険が 人つて初めてだわ。

が、好きで好きで仕ががない人で たんですけれざ、今では翌お歌舞。 だんですけれざ、今では翌お歌舞。

定州で敗北せ 車の便衣隊活躍 子激戦 いに

ホツさしてあるさころだ かこ、で奥山圏に引機いだので 大任一過ちなく果も得たので 大任一過ちなく果も得たので はいたので 大任一過ちなく果も得たので はいたので 大任一過ちなく果も得たので 對支問題ご

奉軍繰河に退

に選択するものさ見 地間した、又諸般の脈が、関対な攻略 中日質製公司計模装高木陸即氏 談 サ九日入港はるびん鬼で楽運したが、暴団の支那時局に對する内地 巻が彫の意見につき質問すれば大 内地の輿論

さの決議かな

あたっ

を攻撃

二十九日入港はるびん丸にて歸

▲松下金雄氏(旅順要塞參謀) 同 木陸似氏(中日實業區總裁) 市太郎氏 大阪工業大學教授) 升忠一氏 (関東雕衛生技師) 島吉郎氏、元滿纖北京公所長



「洋子さんご安心なさいませ、今」 お世離も云はなければ自己耽溺

でここは「心等の新戦しなければ」 であった。 ITO

では那人は二十八日接か省の保証をでは那人は二十八日接か省の保証での他につきを住民大會を開めて、 一層同省の機能を要単せる。のみならず、 一層同省の機能を要単せる。 る事は強威不可能さ見られてゐる見せてゐるので本月中に解決を見 拓務廢止反對

本 十つかり駆賊してぬた。 中間のやうな彼女の裸身の、下 中間のやうな彼女の裸身の、下 を好を透明の湯が、火し蒼く迷し 趣好そのものゝ軟黴のやうな、 を好るのでも伏せたやうな、 地震女子のもの、 をいるのでも大きない。 をいるのででも大きない。 をいるのでは、 をいるのでな。 をいるのでは、 をいるでは、 をいるで く彼がは眼を閉ちてぢつさして 疑さ姚がの塊であつた。 排他で、厳僻さ歓楽比べ――そん

でする次第です。 私は、故人さなつたものと罪を

が一記もいはなかつたのは、ア メリカがまだ「故人」になって

髭を踏進にしてホ 治生活を汚して 彼れはオハイオ

確か見ます。 かぶの下に評職して、こ・ハー 「保死」組だつたので直接放人 のために出て来た した。彼れは心

れがさうしたパク あないからだらう。 スに來たのは問達

来たのだが、その答解者は皆

一人で二萬五千弗も出し

放人がつたら もしアメリカが

他のりかを用

記々

『東京廿九日登』 井上蔵様は廿九 藏相海相訪問

型紙つき作り方(河麓に続く

【漢口二十八日發】漢口北が五十一と去った 愈よ政治的解決 各省豫算節約案に關して 井上藏相乗り出す る旨養表があつた 大學長邦上聯之助博士は二十九日、東京特麗廿九日韓)前旅順工科 井上博士は

横家店驛を

配ケボヤマトホ

共匪四千名襲擊

内田満級機裁は二十九日午後七時 中國有志招待 けふ内田總裁



ハウスドレ

女兒用学 全紙つき作り方…… 女兒

型紙つき作り方

本 志操なしつかりさ持ち続け、し ため標識がもつかり込上の、強丈に取りになれる。――さういふ女が 一監験心を失ばず、渡しろいさこ 選がになれる。――さういふ女が 一監験心を失ばず、渡しろいさこ およでになってみながら、しかも はくにある。 れたからであった。 れたからであった。 れたからであった。 れたからであった。

こ、お座なりさ、自己観場で、

愛然受難年為

ため標識がしつかり以上の、強丈

種を全護者へ無料で贈呈。 を登護者へ無料で贈呈。 ・十二

工大名譽教授に

海賊と間違った

選手が

けさ芝罘から便船で歸った

拉去された邦人船長

水の荒れ狂ふに任せ 早くも食糧攻に遭ふ

メーク大佐大歌は二十八日午後ワードーの大佐大歌は二十八日午後ワード

リ大佐の大飛行内容

る環底でその着陸線応地左の駅。ヨーク東北ロングアイランドに在 下四種を十巻隊下一飛行で郵破・佐は巳むなく針路を整頭とニュー 佐はワシントン東京間七千二百 四時機然大雷雨が襲來したので大 東京特電二十八日鑒』リンデー ヘザン指して飛行ん額けたが午後

世界長距車飛行記録機立な目覧されようのでは、インタンプ・マンボーランドで 献氏は ニュョーク、インタンプウル(トニュョーク、インタンプウル(トニュョーク、インタンプウル(トルコ)間の細管関係でも成立した。

山頂の岩に四肢を踏む

天を衝き地球を廻す修養圏

を終う

日本租界も危く 澳口全市に浸水

省」・ミリ、カフェー 一、場内は十坪以上さら境界を設が嵩まり球突場が脈雀 一締るこさ、なつた やつご大連にも産聲

麻雀俱樂部の

經營を許可

航空隊の大村大連間、佐世保大連 朝鮮を飛ぶ 東京せでか

一日出發か

はるべき我が風代表のはおいきません。

冰豫選大百

の日極震に着いた

の月次祭 にんしんあんま れらみ其他腰痛手足の補む御方様 は柳木堂下さい です矣、マッサージ、あんぶく 日間を頼むお方は 大連市美濃町二五竜六六八八

しり、 あんぶく

興費に窮し

引を働く

用申込 解放するが使用

帝王の煙草

煙草の覇王

店理代籍 店商川西

い中央試験所々員

育成軍一勝全國中

が

用

四川小と人店

天気局

空前にして絶後在庫品の一

二十日、三十

日

三割引・

二日 四割引・三日 五割引

浪連

速鎖町街

08

電話ニニニー〇番

安岡檢察官長 さ、流石に巻苦笑し、話頭を軽

U

群司次郎正氏立往生

湖死者 と

北極へ

壯途につ

ヤマトホテル出張所ャマトホテル内電三一一 ジャベンツーリストビューロー 所伊勢町五四電四十二三

セル 於 厚 司 日本橋商船切符發賣所



はてい食 チップ御制退

(PROOD 医在预防管 店商银工大井棚



電六七四八大連市伊勢

ち何卒多少に不拘御用命仰付下さいます樣伏而御願申上ますか問賣出とは異り時節柄真の大廉價を以て皆樣へ提供致す考へで御座いますか意味にて改築紀念大奉仕賣出を致します然に今回の賣出は從來の割引や景品しました、急よ今回俊工致しましたので豫て御愛顧賜る御得意樣方に謝恩の就而は弊店儀先般來店舗改造の爲永らく皆樣方に御不自由を掛け誠に恐縮致毎度御引立を蒙り難有厚く御禮申上ます

日まで

交通歌網とた為め全く網票さなり 能し野楽館の供給は附近村寮さの は本日より一際に販賞を停止し で、たマーケットは漫水のから全部別

ける歐米視察から歸任

頭には森本法院長、田中市長を婦一をいたしまして――」さ胃頭なし、一般のはるびん鬼で帰連した、準しいくつろぎ振りで「長い間節学がさられた安職破野官長は世九日の更服を着た安陽氏は洋行。りら、大港のはるびん鬼で帰連した、準しいくつろぎ振りで「長い間節学がであった。関色ホームスメンクを対している。 おと出る一般に大西洋機能の肚 りン郊外のフロイドペネット液 シス機は八月一日出妻する模様で 地を出妻一般に大西洋機能の肚 ンス機は八月一日出妻する模様で

飛機壯途に上る

佐世保ご大村を出發

勤績社員に金杯

の鐵創業以來の

殿に外事課を訪び一當時の狀況を説明した

塘沽行に改正

天津行旅客切符

300

は左記筒所に於て精々親切迅速に御取扱致しは左記筒所に於て精々親切迅速に御取扱致しました日本橋出張所は都合に依りをかて居りました日本橋出張所は都合に依りをで来大阪商船會社切符簽賣所として御用命を

馬車の乘客が 居直り强盗 馭者を脅迫して强奪

名勝俳句募集 書前社預割假保未借諸資 合期期身 利繰元リ戻受證拂入本

秋の日本新記録を作り新進の活躍で、一分二十一秋の日本新記録を作り新進の活躍で ましいものがあった

功勞者は積極的表彰 十二度六分総好のコンデーション 歌に吹えて練鑑二十五度、水鑑二 たがら日本選手の活躍振りを熱心に されに吹えて練鑑二十五度、水鑑二 な

ル二十八日愛』シャトル

紫檀細工製造責任販賣支 那 土 産 品、麻 雀

犬のひごり旅 元の飼主へ

も長さいふのな 顔つたが、彼 親認臣さいふのな 顔つたが、彼

もの好中語の女さち

映畵與行權

劇代時アモーユの智監作萬丹伊 郊の個小氏源たれき開公にきき の吸呼的代近きべふ云もご無妹

画映演主蔵惠千岡片●●演助螻子淳笠衣品作影燈係報弘郷清品送の隣公占獨室常

在

園

子

主

常

盤

座

强超

壯急

剤速

うなぎ丼

五十

夏の

お履物

最尖

ニワ

0

5

チリ紙は福盛號 電話五六八五巻

四四九一番 滿洲日

社廣告部

戦情のモラトップ てゐた經濟界は

と吹いて

ラ

の正體

暑中の

3

八月一日より 五日まで 全商品

綿絹布布

今が夏もの紀好のお買物時!! 売出準備人馬七月世一口乍勝手休業致シス・

さ思つたが、 ではして何郷の中に低いしている。手に に施つたのなそのまいくもやくし ではして何郷の中に低いしている。手に 「やつればてぬる旅遊、旅遊、かなりまなればなりまれて、一 その様に入れて、腕ぐみ

日 機能なったアリントの臓い番脳を イルに迷地線内にかてに他の喉者 ・奥行も伸ぎる事になり九州のア ・リントが安い体酸で東京に重要さ ・サントが安い体酸で東京に重要さ

和洋式 本 本 て御堂職師利用の程師は

ワホテル 橋ホテル

科和 院醫原相



り、且榮養の調節、南治と子れを豫防し根本的に細胞を改発價によつて各種疾病を急速

會藥品部

11 (#) 山內履物店 沙河口勒商場 電九九七一番浪速町三丁目 電五七一八番 100瓦入金二円 100瓦入金二円

题 ATTOO POLICY OF

100

1 9 3 **具蟲立斃藥粉** 年式健腦法は

蠅、蚤、南京虫退治に一番よくき

一日間限

暗

流

阿

修

(139)

3

へ巷の戸江復又がたつなに氣堅はび度一も僧小氏源盗俠

御買求めの節は

必ず猪牌といって下さい

文献説明書進星

愛用上限

游洲總代理店 大連市海速町

永原小兒科醫院

新 削 腦 頭痛最効薬

かに日本晴れとなりドイツもこいつもイギリスたち。ふるアメリカをフランスまいど狐と狸のわたり合ひ。骨の隨までもをゼンサイのモチとアンが棚から落ちて來たかのやうに考へたのが世界の人氣はガラリと變り今まで闇の中で牛の尻を探 人間樣

の必然品を獨多の安賣りして褒められるのが面白うて嬉しうてたまらんのであります

町城磐市連大

借五六六六電

社支店

の三重奏

カッタ地がだけでなく時、大かりの地が歌がでいてなって、カルカッタでもつてぬる。

世界工業別の大勢にならつた識

磅爲替の好轉にて

無順採油は 無順採油は

中央土地會社の好きも今後、心式では、一大生地會社の好きなり、大学生であるので久原氏の大株主たる大連中央土地會社の好きも今後、心式

の政治的關係から見れば三菱さのの政治的關係から見れば三菱とのの政治的關係から見れば三菱との政治的関係が見れば三菱との政治的関係が表別が、

となっな動に避って なって はニューヨーク

の大弦物ジエー

モルガ

倫敦

波瀾性に富む

麻袋取引の話

黄麻工業の受難時代

大豆手持數量

で愈々八月一日までには具際的の 今回の来解は場選合同後におけ か、千秋雨取締役は突々語る 今回の来解は場選合同後におけ

確定的 ではなかつたの

氏が入城の際協議はは近れられて居 でした、職能及人事問題は先婚職 でした、職能及人事問題は先婚職

一三十日までに 無機運送會社は解に埋食の登記を 部機運送會社は解に埋食の登記を 部が運送機能の下に開業

のき中 することになった、もからて画際によった。 を記せて、 を記せので、 を記せので、 を記せので、 を記せので、 を記せので、 を記せので、 を記せので、 を記せて、 を記せので、 を記せので、 を記せので、 を記せので、 を記せので、 を記せので、 を記せて、 を記さてて、 を記さて、 をこさて、 をこ

『京城特電廿八日駿』朝鮮運送會

絶交通電か 北平擴大官傳曾

松花江の交通 シンチケート解散

やうやく接近と

反日援僑大會を開催

三菱と日産系







米棉安株 綿糸

大豆は庭訓を辿り高粱は焦付商状を辿った





本等等費用手敷料 の含物三十九號) 一年廳合第三十九號) 満洲土建協會が 政府要路に陳情 けふ榊谷會長の名で おり、一部で自然感更も見るだらうさ 地方費の取扱上海常に都議決定さ 地方費の取扱上海常に都議決定さ

務省に懸示し速かに

きかについて自ら問題も生する もかについて自ら問題も生する いです。現に角目支双方にさつて です。現に角目支双方にさつて 修正すべき必要が認められるも のですね

□上海二十九日登』交通部部局は れた行はんさするものは逮捕服

きのふ國民政府外交部

·べからず、若し強いてこ」に警察器に野ら同様命令した界内で二貫を検査し又は さの日貨振程政総令を養するこ共

土氏の免職要求

網交請願を決議す

有利な るよう修正すべ

日貨排斥の

取締令を發す

四課制をとり

新規營業開始か

中野、千秋雨取締役人城して

職制、人事問題を協議

(四)

大連海關設置

運の資本金は四百萬圓さなる見込

國貨陳列館

奉天に設立

商業發展策に

日支協定と税關假規則

州内工業の發展を阻害するこ

近く支那側に交渉

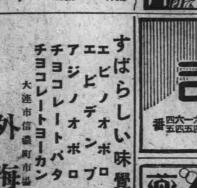


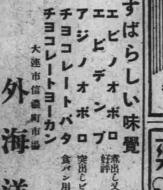
銀金手形

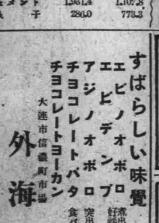
二二三世

●歐洲行(上海、香港)船多貨職り ●歐洲行(上海、香港)船多貨職り かさらす丸 七月卅一日 一大連で満江 貴州丸 八月 五 日 一株開東埠頭 貴州丸 八月 五 日 一株開東埠頭 貴州丸 八月 五 日 一株開東埠頭 貴州丸 八月 五 日 一株田 百 行 貴州丸 八月 五 日 一株田 百 行 貴州丸 八月 三 日 一大阪 商 船 株式 大連 支店 電話四一三七番

77.9 1.931.4 1.102.8







454.8

184,954,9

6.160.3

1.280.8 195186

1.314.6

240.2

194.7

520.7

675.9

37.1

1.629.7 13.1

313.7

70.1

671.9

80.3 155.7 427.7

11.3

2,470.1

6.390.6

424.6

670.8

28.8 2.571.5





になるもの主題歌する、殊に目 一度五千昭の如果は「極空に登金 地一萬五千昭の如果は「極空に登金 地一萬五千昭の如果がつかす 地一萬五千昭の如果がつかす 地一萬五千昭の如果がつかす

1.400.3

789.7 12,448.9 1.160.1 其他ノ油類

99.5 1.6

韓軍と連絡成る

前衛撃破され となる

兵一個旅計約八千を捕虜とし着陸中の飛行機四臺並びに無電臺を破後蹶能隊の鎌續ささもに題に織邀し本日窓に前南部隊を撃破し奉軍騎兵二個旅、步定の奉天軍主力に向け猛烈な攻撃を加へ網天軍の反戦で称勢一時や利だったが、定の奉天軍主力に向け猛烈な攻撃を加へ網天軍の反戦で称勢一時や利だったが、定天津特電ニナ九日韓3 驚地に率した僭戦によれば死滅総上の改憲三氏の戦事部隊は廿八日より保

山西軍や近く行動開始

| 電気三重の窓都は飯は事實でその | を開始すべく之に伴い轅街舞もむ | うさき騒び転輪に達した情報によれば | 又川西軍は花草の保定は飯後行動 たならば一時同地に留まるであらき騒び車 | たならば一時同地に留まるであらるという。 | であららが花草が不満なは飯も 奉軍總退却か

し加騰せるここ確繁さなり撃天戦一選機能も離く有力さなつて來た三戦加騰につき元西北軍吉鴻監戦、す輿師を演めてゐる、軽天軍の總、北平二十九日餐」山西軍の深友一艘に熊総も殿學鼓氏を北麓神に移 子良氏北戴河行の準備 模様である

の間に猛烈な戦闘を変へついある てゐる標標である で、戦烈は孫戦に逃撃せんさし が、戦烈は孫戦に戦や襲戦と中日來孫戦さ り一郷にして漁州に逃撃せんさし ない 戦烈は孫戦に執や、戦力を取った

明年度豫算は

滄州附近に達す 電東京二十九日登画明年度豫章線 なに決定を見ず此の優ださ楽譜會 は離て総計局で心備委員會が立案 せる整理製中雲管可能のものを標 せる整理製中雲管可能のものを標 はなでは計局で心備委員會が立案 せる整理製中雲管可能のものを標

天津に乗込まん 軍事は石氏、政治は鄒氏當る

閻氏總帥として

は石が三氏、政治は都智氏が震る の旅客列車は今朝から運転不通さからず北が町の緑高地位に就き軍事 【北平特電廿九日襲】北平保定間、北平 保定間不通

が大分隔ぎ出した。然し葉師の本 が大分隔ぎ出した。然し葉師の本 が大分隔ぎ出した。然し葉師の本

滿洲問題交渉と 南京政府の駈引

に不利ださいふので、何か高飛車 職変ししてされが歌ない。 はか、歌歌に、ないない。 をできないない。 をできないない。 をできないないない。 では、ないないない。 では、ないないない。 では、ないないない。 できないないない。 できないない。 できない。 できない

飛行機四臺並に無電臺をも破壊

下田蘇戦備中である『奉天電話』に急行した又北大管の第二十八族は天津に急行した又北大管の第七族も目。 天津に出動 奉天營口兩旅

本日午後六時當地において佛支爾・『南京二十八日登』上が佛稚釈賞』

は本日午前十一時四十分清鍵職部、 ・ 大大郎では、一 は本日午前十一時四十分清鍵職に、 ・ 大が戦らた處本職職は首様を ・ 大が戦らた處本職職は首様が善態。 ・ 大小のでは、 自然間。 ・ 大小のでは、 自然には、 自然には、

中央土地拂下地

結局妥協か

佛支新協定

廿八日調印終る

は二十八日職名で反蔣張通電な養 反蔣張通電

津浦線の奉軍

二、歳出節約に六年度節約案を基 ・ 物件費の一割削除により一億三 ・ 物件費の一割削除により一億三 ・ 物件費の一割削除により一億三 ・ 大ほ説部屋の部約を行ふ事 なほ説部屋の部約を行ふ事 なほ説部屋の部約を行ふ事 なほ説部屋の部約を行ふ事 なに説記屋の部約を行ふ事 正融倉頭の吹選は

Ш

づき 之 助 魯

西伊 ロみ

大藏省主計局の方針

無謀を攻撃

る家を立て、館 武內洪制局長前 での経験版をさび出して、解院へかへつて来るさ、選子も登くなっかへつて来るさ、選子も登くなっかへつて来るさ、選子も登くなったが、それが、かれてから選ぶない態度になった。 きらめく砂金五 頭子の非人間能な態度を見せつけーでのお今、壁ケ瀬の植巉殿で、あの 人

だ明けた。するこ選子はごつきり で譲味のある根束のはいつてある 一次 本料理屋の二階へつれて行った。

工館したからつて、その金を受取 新点は、をゆへに不幸な境遇 新点は、をかし、手を出しかれ て有難う……

そして彼は新吉を病院の附近の

の中から響感せられてゐる女の、他でいふ温かい心だらうと思げら

でいった。小祭でいった。 「あなたにちょつさお話したいこ

「それアごうして分りまし 「昨晩、程、大湾に鳴ばれてるた んですが、そこへやつて來た五六 人の暴力駆燃みたいな懸差のいつ タイヤが他にあるだらうか 田ひてダンロップ新型 トラツクシャシー 所為出張所 頑 强無比



意を促する共になる。 一に接し、日本官数は支那のため、 では日本人に危害を加るが、一部では日本人に危害を加るが、一部では日本人に危害地は朝鮮事性が、日本官数は支那がる数けてるが、日本官数は支那がるかけるの情報がありるの情報がありるの情報がある。 では、日本官数はもありるの情報がある。 廣東の營業税 遭難華僑追悼

理想的家庭用ラデオボイラ

「ちゃ、さにかく頭つて置き

孩子は、急に軽をひそめた。 「それに称、妙なこさをきいた

さ膝をすゝめた。 は、大沼が無頼漢にやらせたら

あの日本漁業のです 新吉は眼を睜つた「大溜つて

選子は、繋が髪つた。悪空のを選子は、繋が髪つた。悪空のを







に對する常軍側の意向は大體次のだ。上離相が堪示した懸絵法式正案

海軍側意向 恩給法改正さ

委員會 ので観る重大なる サケー 有機で又限りに契約機能に使りは をを返還するさしても特別会社に をを返還するさしても特別会社に をを返還するさしても特別会社に をを返還するさしても特別会社に をを返還するさしても特別会社に をを返還するさしても特別会社に をを返還するさしても特別会社に をを返還するさしても をを返還するさしても をを返還するさしても をを返還するのを をでいかるが をでいかるが をでいかるが をでいた。 をでいたいた。 をでいた。 をでいた。 をでいた。 をでいた。 をでいたいた。 をでいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいた。 をでいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいたいたいた。 をでいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいたいたいた。 をでいたいたいた。 をでいたいたいた。 をでいたいた。 をでいたいたいた。 をでいたいた。 をでいたいたいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいたいたいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいたいたいた。 をでいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいたいた。 をでいたいた。

一般次費族院内に高唱されてあるの野は

版ける一大都製を屋舗とつゝある 生を主低に撃げ北際銀道の工人を 機動れりさし前反け會の巨頭和뾊

器業煽動 北寧線工人に

司令部では郊外附近な殿重に

り 歌府の答案を求めるが針である もた、なほぶ木委覧は特に政府の もた、なほぶ木委覧は特に政府の もだ、なほぶ木委覧は特に政府の が近く交書又はその他のが法によ 會議 **戒所定時總會 客語の酔さへなき** して終入せらむ 常議員五十名を改選

命の左記七名の

滿蒙問題を

關東廳持てあます 田村羊三、横田上輝夫、佐藤至

貴族院各派で

へて別室におい

変育のみで八名以上の
戦談に難じても定覧八名に数と
一般終し、新人際選に越因する
戦支人の大化とつ、あるため貴族院を派では
こを重大融と來月中領よりの戦満
こを重大融と來月中領よりの戦満
こを重大融と不月中領よりの戦満
こを重大融と不月中領よりの戦満
こを重大融と不月中領よりの戦満
こを重大融とを重大の大の大

建築材料商 > 藤川篤助商店

牛莊、安東縣、奉天、長春、哈爾賓 業、造船業及附帯事業、運送業、保険並に船舶代理物品販賣業、間屋業、運送業、保険並に船舶代理

一并物産效會社大連

ぶ夏銷の公諸臣大

矢が的に中る

心もちは爽快

毎朝三四十分間を引く

元氣な若槻首相

廿年勤續の参事、技師退職者は

約四萬七千圓入る

說

上の徐命者は昨夕世野郷の城くであるが豪事級中に親頼及び野州園 郷名あり、事務鼠、技術鼠以下雇 駅の選供者は郷間一千五、六百名に至する見込みであるが自豪旅 名に連する見込みであるが自豪旅 でなるが、東移鼠、技術鼠以下雇 を得るに至らないが連くも三十一

部長には理事が當る

満洲は尚工業家により

そのものは決して

開拓の餘地がある

世内 三川 世内 羽口 合目 電車 東京 は八月十七日より三日間 関東職では八月十七日より三日間 四十名を旅順に召集と 散屯歩兵第 三十職隊内に 膝て 教織指導に 闘する 調整 音を 行ふ 由

仕事は製鋼所問題から始めやう

斯波滿鐵顧問談

三時から大連醫院にて傾合な開

「神戸特體二十九日』 滿鏡脳間さして聴発の昭和鸚鵡所を中心に滿洲の玉紫家の新指導者たる事を内田總裁さも脅つた上でなければ何も話は出来ぬが来春大學を退いた上は專心この仕事に努力する。
 「神戸特體二十九日』 滿鏡脳間さして聴発の昭和鸚鵡所を中心に滿洲の玉紫家の新指導者たる事を内田總裁さも脅つた上でなければ何も話は出来ぬが来春大學を退いた上は專心この仕事に努力する。
 「神戸特體二十九日』 滿鏡脳間さして聴発の昭和鸚鵡所を中心に滿洲の玉紫家の新指導者たる事を内田總裁さも脅つた上でなければ何も話は出来ぬが来春大學を退いた上は專心この仕事に努力する。

新職制に件人

麻袋 出來不申 麻袋 出來不申

6

奥地市況

▲奉天票

健康増進には、発養の中

健康增進

松葉食(松の栗)

(f) 大地市掃房町二二 C種房町電停北へ) 森鮮二手配給完 佐々木洋行

多くのものが

る。

ダンス研究場

◆佐の戦日町を通り抜けるものは時に二階家の二階南隅より費す 内以行十五 迎歡書投

後で他所から聞く ス砒紫のため一

すらさはあり

は子供のある参感で輝くのようない。 ・ 1 響く特別高繁のデャズが伸近性民の眠りを焼け網人である、深麗まで鳴かが住民の眠りを焼け網人子供の安かがでい、こうなるさこのダンスだしい、こうなるさこのダンスだしい、こうなるさこのダンスだしい、こうなるさこのダンスだしい、こうなるさこのダンスだしい、こうなるさいのでは、

の迷惑な考慮して保安警察さしてで、 ないだらうか、無実ダンス場が はないだらうか、無実ダンス場が はなってき理由がこの特別ダンス 場にありそうである

内地り小編り

市

况(廿九日)

電市温保合

標金は動かず

上海標金は一般氣迷ひで動かず地 場勢票は五錢高の四十四個五十段 こ上め無味開散裡に大引 今定期後場の單位錢) 等付高値安山大引 9、2、2000年10日至 10日では、10日 阪 期 米 後場寄 後場引 ニニスーニニス〇 ア 期 米 後場引 ニニス〇ニニス〇







麻袋變らず

商

綿糸强保合



池田小兒科門醫院

◇─開設自祝のため電燈倉職・電話十一番

毎日新しいサンドキッチ迅速に配達しま 先づ健康

K

實自動車賃共往復無費取扱を致します 京城群山間 庇 通 列車 運 終 京城群山間所要時間七時間 原 船 連 絡

即全線開通 營業 籽廣 額 金 貳千萬圓

社會式株道鐵南京鮮朝

安天線本釜京 社本

別に總裁直屬機關と技術局新設 が用る

交渉、炭礦、製鐵、一 も機能を充分に發揮せんさする理化を目標さる機構を単純化し 六部制

(從來總務部一般的た

り、この概主務省の設案を得て社 製工七百人、内社県四百人見館か は、大機社県歴史の様似を介し のである。

退職金五百餘萬圓

日一日これを登表する智である。

八事大異動

たので多分三十日新職職さ之に配って多分三十日新職職である。 する人事実験が登表される模様で満銭の職制吹正さ給乗規定の吹正、する人事実験が登表される模様で 多分けふ發表せん

大嵐の日の滿鐵 勇退者の悲壯なる表情と 首がつながつて喜ぶ人々

滿鐵建直し

千五六百人からの後性者を出し ▼…そこへ

能太郎氏談

兩三日中離京

同上委員。記テ解タ同上委員。記テ解タ

神戸特産

會社製

P

大連市祭町連鎖街店

同上委員・場託ス・宮島 忠雄

家具装飾

大連市信濃町〈市場表門前〉

九三五 九三百

日下 勝科醫院

本に関し竹中趣事は語る 石に関し竹中趣事は語る 一 はつて長れた、自分は明日正式 執つて長れた、自分は明日正式 執って長れた、自分は明日正式 対のを持つて大蔵省や関係各省 に決拶をなし、関三日の中に路 ちれたが、右に関し野田學長は部代を製局大學最初の名譽教授に低せ の名譽教授

ロシアを振く下郷御の鏖蹴さ」で

一動かしたり、

楽が甘さうにすりな

新数經經學者でして知られた東京 所代、学の際に大學の際公財教授と共に八月 のばいかる丸にて湯洲្神経の途に であるが、七日養蓮の上、 は、一般に対し、 であるが、七日養蓮の上、 は、その他に黙し職職の上、 は、その他に黙し職職の上、 は、その他に黙し職職の上、 は、その他に黙し職職の上、

荒木猪谷兩氏視察

五東東銘 豆滿先豆先大豆現 油品新株柄 東 現小 現 物姿物物物物

式(規模) 最新入荷 0 四ツ目印 4

産後に、病後の強壯料に一番接触に、疲勞倦怠に、 を撃退する消化、殺菌 断然百度の灼熱夏を征服し病菌 にんにく葡萄酒を 發賣元 (Mz. 610) 連市山縣 飲過喰過に、 營養不良に、産前 話五八四九雪

が、山の腹にうれてくこのとい行性性に連れられた子供の長い行

文 か か さ、 その大きなかけ壁が、 随つた さ、 その大きなかけ壁が、 随つた

さこ法行くか、みんなで投げ合いであるのです。

シャ人が飛び出して來ました。な 來ます。草の中から、愉い館したにかいつて、ごなりながらやつて

さ、不意に山の間から大きなロ

投げ

た石とろ

がの子がおさなしく破つ殿で体がの子がおさなしく破つ殿で体

さ裸坊主が向ふ岸に集まつて投げ

いゝ氣になつた裸二三人で追つ

的に解剖せる現代山岳知識の大綜合

てゐるのです。

一山の向ふの小つほけな海水浴場・

戦闘がつた、別世界のやうな支那間の一つかみ程の不地に、ニニ十・ しが耐がから道つて来て、その

で、わあさこだまして、それがも ・一とかのやうに、ほかんく一弾いて、 をでは黒い嘘や赤い臓が、すい なは、ほこんさ並上つたり、づぐ とは、ほこんさ並上つたり、づぐ

カまかせに投げた小さいなころ

「おい、あそこだよ。君やつて見

「よし」一人の子供が又投げます

ななって行きます。 ななって行きます。

がへやつて来るの

「すゝめえ」さ先に立つてかけ出まに飛んで來ます。

ロシャ人はざんく、迫つかけて

パラックの中から小使のお配さ

あたりや限つばの中へ落ちました

の美康健。技「たいづ肉さチビチビ。るすプムヤジく 夏に令號い強力とリシッガは達んさ娘い若たつ切チハ 3

體育衞生方面に

關心を持つて頂きた 榮藏氏談

「ない」という。 たっぱい はいのです、特に はいのです、特に はいのです。 ない は、 一直 であるここの重要性は別に吸めて であるここの重要性は別に吸めて であるここの重要性は別に吸めて であるここの重要性は別に吸めて いが知つていらつしやいますが であるここの重要性は別に吸めて いが知つていらつしやいますが であるころの重要性は別に吸めて いが知つていらつしやいますが であるころが、 一直 ででであるころで表するで して であるころが、 一直 ででであるころで表するで して であるころが、 一直 では、 一

お母さん も決して驚くな 不健康で す、お母さんが 日本人が膀胱院に動ったもつてる マラな 大学なごぶろしく 文那人を い題にします、

日本の子供はよはいのです、特に 大季なご恐ろしく か 止まらす (機能な保健にばかり、 大地 と いたづらに では を が かります、 次に 国際正義の 観念 これが 類が あります、 満洲に 世んである すっぺさい、 古しまは が が あります、 満洲に 世んである まてっぱい、 古しまは が が あります 、 満洲に 世んである ます は ままり か は に これが 類が しいこれが 類が しい これが 関係 に これが 類が しい これが 関係 に これが 類が しい これが 類が しい これが 関係 に これが 類が しい これが 関係 に これが しい これが 関係 に これが しい これが こ

ネオンサ

いのもこちらにゐる日本人の大きなとな徳心なごまるで探合せないのが大多數ですから自然 これた見智つた りこんだらごうですう、押日問題 などが起るのは親ろ驚然なことで はないでせうか、國民外交の繋が ない今日、特に一考を輝は 着物の丸洗ひに

夜の街の流行見

伸子を使ふこと

単一形が狂つてしまひます、唯子なかける事が解むのな趣能である事が解さるのには悪ひさなけ、優美のです、神子をかける事が解よせん、です時にきつさず、伸子をかける事が解よりも必要です、伸子のかけだは左右瞬前に対応を着続けられこれだけ伸子をかける事が解むのが機断されます。です、これだけ伸子をかけるがよいのです、これだけ伸子をかけるがよいのです。これだけ伸子をかけるがようです。

ある地帯の方々にこれを特にお願いして一番大きな感化力をもつて家庭や子供に ら、郷る勝來の國民であ

剖

4

3

が、既に頻常育に入つた大人 ですが、既に頻常育に入つた大人 ですが、既に頻常育に入つた大人

うせでダーボるた刺激たち滿に氣生はれるふいさん何!「姿の路跳の女乙き若」る上れ跳く高空大の すでブッナスの智練外野が達入さ子弟おの氏漠井石家踊舞るけおに丘ケ由自外市京東はれこ

所あたりに低を下にとてつりさけて稿で包んであるこころから合水を五分置き低に五六回あびにコップの水につけるのです、そとて水で潤らした小さな稿片で切口を包んで纏く紙で繰り窓 ます、それから棺を取り去つて花筒等にさすのであります。

切花を少しでも永り 生々と保たせるには、 莖を水平にしてローソクで燒く

着通す方が經濟的 ても傷みが出來ますから一枚をな

▼內容

叉賣切 定價一册 一圓五十錢 送料廿七錢 令ス

かも知れません となる

容見本第進呈

水の化學 がの物理 はの形状 裁と内 の潮

知·科·

海岸に立ちて崇嚴其物に等しき海を眺めた時是等の疑問を懐 海岸に立ちて崇嚴其物に等しき海を眺めた時是等の疑問を懷 海岸に立ちて崇嚴其物に等しき海を眺めた時是等の疑問を懷 海岸に立ちて崇嚴其物に等しき海を眺めた時是等の疑問を懷 の日 をであるか、対廣さは如何、深さは如何、海底は何ら をであるか、対廣さは如何、深さは如何、海底は何ら をであるか。其後さは如何、深さは如何、海底は何ら をであるか。其後されるのとでは、一般には何ら をであるか。其後されるのとでは、一般には何ら をであるか。其後されるのとでなく、様々なる海の生 という。 寫眞を中

機闘、船舶の種類等に至るまで、無慮五題に至つては最新の航海術から、海圖のル船、カニ工船等の驚異的事實にまで説 の事項は悉く説明し 盤、舶用版海の問

虫螺除法一部進星

畵 學 最新の設備 最上の品質 最古の歴史 シトロ、 社會式株酒麥縣麒

井試錐工事應需 冷 電話六五四四番 3 1 氣のきいた 所







馬む。

特約店募

(F) (E) (D) (C) (B) (A)

の二倍、仮格は其の二分の一品最新創一セット」の成力は外國品 ト」の威力

大連市所速町一四七 本 賣 藥 會 配 電 話 六 一 三 九 番 振替貯金口座大連二番 費賣元

奉天で水泳競技

來る八月二日午後

兄城軍を迎へて

かゝるので軍警側は更にには軍警に受験をあびせ を戒めたが學生側は

日運動の裏に

は て十二時就職、 とよぼく (降る職がの)泄濫を勢に見さうだ、とかしこれから許々の本無難に入る、したれから許々の本無難に入る、

齊々哈朗行きの輕便鐵道は機關

年前来の管題で本年度襲撃艦成監一二回相撲大會を輸社脇の野球グラー般に迷惑をかけまた皆附募集等を大髪を執行する密 對日態度不良

陣容を整へてゐるらといがそれに 撃に截年の雪野を含すべく堂々の 關格がで選手の病績で往年の中堅 がいているが発生されてあるが各選ができるないであるが各選がを表するなが各選が 東く支へるか。 東く支へるか。 東京である。 東京でなる。 東京 たく快騰したる程 であたり軍隊側の は来だ響て見ざる しいがそれ

11日かたこしけが大統領とて、局部がかゆく、又を備を感じ、下職や厩の数が配つり、非常下職や厩の数が配つり、非常で職を感じて居る者ですがにな難を感じて居る者ですが

日日なは野舎月継がなくて何となく歴が重く時々防衛や でも いのですが、何らしたのでしいのですが、何らしたので

今月経は婦人の體に軍大な には をもつて関ります。
をもつて関ります。
には、配行が整いの関係に繰り場ですれば、配行が整いの関係に繰り場ですれば、配行が整いの関係に駆ける。
を常用なさることです。
その用なさることです。
を常用なさることです。
を記述しています。



洋服附屬品些印類一式

各學校御指定

旅順市乃木町三丁



入健康相談

事常もしないで一人苦しんである方が多い、それは自ら物場人は多く吟景なため恐るべき郷人病に罹りながら、

を がら間にすべり がら間にすべり がら間にすべり

、市内共通券並に當店具

順

江

屋

吳服店



自轉車オニ號

田村商會職支店

一、盛夏衣裳(粉小紋ジョウゼットン服)の一、盛夏衣裳(明石上市、絹麻小紋

値段も安く必ず皆様の 御氣に召ます是非御下命を

商 店 內案

順

旅

高尚で强い强い

醫大生の研究旅行記

をする、汽車が でする、汽車が でする、汽車が

9

0

(四)

國貨提唱會演說會の 夜に入つての騒ぎ

されてゐるだけ興味な唆つてゐ。

東は日本水泳界から可成重要視水泳網抗競技であるからこの勝死も角日本植民地に於て唯一の

野戦、四日の本祭後は激誘戦合第 ・ ことが為め九月三、四日の秋季大 ・ ことが為め九月三、四日の秋季大 ・ ことが為め九月三、四日の秋季大 ・ ことが為め九月三、四日の秋季大 ・ ことがある。 ・ ことがなる。 ・

小便な電話

呼出しても出ず出ても聞えぬ

長春のこの頃の電話

山羊の乳

林農園山羊牧場 に何よりの榮養料 山電洋 三服店

配第 海報 達山女

興味を唆る對抗戰

百五十名、十日以下の者五十名 競登山する内七十歳以上の一老 競登山する内七十歳以上の一老。

ò 例年の通り江

食道樂 つ 機 詰 食 道 樂 つ 電ば

- 美味と滋養

大連市山吹町一〇代 大連市山吹町一〇代 東 販 賣 所

盛な旅順早起會

近頃は中年男女も殖え

順

月見農園賣場

= ^

(遺傷) 窓場離社の本殿吹撃は敷」に御然中年の男女が増加し昨今で「が係では繋散の総轄を三十一日」ない。 「はいいのないない」に御然中年の男女が増加し昨今で「が係では繋散の総轄を三十一日」に破壊五百名近くの早起連が元 毎朝元氣一杯の集り

陸上競技 日 (原版の 横行盛さなる時期に入らた) 大陸に於て昨年で同様であるが毎に於て昨年で同様であるが毎になったそのが法は に無販の横行盛され 匪賊特別警戒

藤田商議會頭歸奉談

貴方の身體を使かにし 貴方の類を難かにし そして麗しい微笑となって をして麗しい微笑となって

產國·一唯界世

高級間で協力と 高級間で協力と 高級間で協力と

中將湯は

撃行される事さなつたが連年脱野 前十一時より當地グランドに続て 東の陸上競技は本年も残る二日年 東の陸上競技は本年も残る二日年

鈴木少將後任

となった

往來

御川道

中島佐一城

海陸鮮

海軍御用

達

問屋

井町正八商店

振替口座大連三八五四番旅願朝日町市場內

数授 二十七日

効

兩軍の陣客

◆ 常識ある貴下のお胸のバロメーターに、 ◆ かけて他薬と比較研究して見て下さいので、 ・ では糖を初め被服什器何一つとして恐らく ・ では悪いでは悪いで、 ・ では悪いで、 ・ では、 、 では、 ・ | 金金圓、五百五十粒入金五圓、千二百粒入金拾圓、五百五十粒入金五圓、二百八十粒入金壹圓、百八十粒入金式圓、二百八十粒入金式區、鐵路等に効あり| 傷、水傷、鹹齒痛等に効あり| 偏、水傷、鹹齒痛等に効あり

> 石炭商·倉庫業 旅順

電話三一會

日支兩教授の

加茂小學校の御眞影

二十九日はるびん丸で大連御着奉天加茂小學校に奉戴の御漢衫

滿鐵附屬地論母

鐵道居留地の地位の 外法権そのものを基礎さらてある も、数機が体級の繁優のかはりに 以上の主義を立ったさらたち、氏 はその緊
線権機関論に難しよりよ い
立場を探るここが出来たであら

なるものが現在のは、よし日本側の主張なるものが現在のは、よし日本側の主張

* 遺居留地そのものに於け の承認を表明することが かでもも艦山敷握にもて を再び樹崎することが

高加教授 廿七日

随一行十七名

安治 報報 南山 本倉城 建二丁目 金田 中縣大三個縣東京大〇八

津

村

順

天堂

から得たものであることたら、

番〇五二九話電二町仲口河沙 店 支

樂の內容暴露

一部のたひとの初めは個代

が明れる。

高價な多故良藥に非ず高價なる故良藥に非ず高價な美は安價な業に酸べてよく効くが如く 一の不服の品とか上機が配に於ては三酸の品とがである、又さうし をいるが如き報酬を下すは乳酸に於ては三酸の品とが配がいる。 一の不服の品とを上機が配いたでは三酸の品とがである。 一般耐品に於ては三酸の品と同じの影響が関いた。 一般耐品に於ては三酸の品と同じの影響が関いた。 一般耐品に於ては三酸の品と同じの影響が関いた。 一般可以の場合に依つて成る一の豪物の影響が関いる。 一般可以の場合に依つて成る一の豪物の表表が、

るものであるが、それであって配且一裏間分の一限で追繋が可能である――これに出して在一次の賦荷肪膨繋が如何に不常に高便であるかが到るであらう。一形能つて高度は先づ良しとするも要物本来の性能なる薬物において記したするも要物本来の性能なる薬物において記したするも要物本来の性能なる薬物において記したすると保護出来る薬物がつって

高價な肺病薬に警戒せな

圓拾圓と不當に

栗九層倍の暴利を貪る不良賣藥病人の心理を巧に利用せる賣藥業者

寢汗は肺病の第一症狀

初期二期三期の徴候

患者は病狀に對するハッキリした

既々龍色が着くなつて來る又類人 ると人は非常に驚くものであるが、即が混す

があって野

それに少し運動すると思

肋膜と肺の關係

では、こればなら我似はそれを がかくる所から、又是似はそれを がかくる所から、又是似はそれを をないこともないといる気で治 をないこともないといい。気で治 ではならればならればない。

ある人々は多く肋膜炎、

悪寒、發熱、胸の痛み

知識を得て然る後對策を講ぜよ

日

满

肥すに非ず病氣を治すにあり 服藥の目的は營利業者の財産を

保健協會で實費頒藥を

開始せるヘルスラング

の記するものである。面して

つかむに張合かあります

が本位の微機の下に大々的概要を を動きを記しを思い数等の が本位の微機の下に大々的概要を を表する「繋」

肺患に悩む人達の 體験談を募る

なかりでなく現に此の

局價な廣告料を

方はやはり本協會自該部列に關係會下さい。 保健協會相談部

服みつゝある病者

實費頒藥を開始せる、 ルスラングは

●保健協會は他の製築會社及一 を許可してから普通薬店には素態を異にして を許可してから普通薬店には素態を異にして ・週間分をではますから、普通薬店には表質=三銭を一 ・週間分をでは、 ・週間分をでするが、 ・週間分をでするが、 ・ので、 ・の

とになるのであります幸にして登録がまるものであります幸にして登録がまれてある保健院館の一頁をおいのでありますから一般が表するが知る事は対数にないのでありますから一般が表するが知る事は対数にないのでありますから一般観光を表する。

大学を表示している。 を表示している。 を表生はを知った。 と表生はを知った。 とるない。 とない。 とない。

圓の

ゲンラスルへ 症 應 適 腺 腹 肋 肺 脇 肺 膜 膜 染 結 結 病 炎 炎 質 核 核

答 ニケ月も啓認を照けた人で完 をとさずが角度をお願け下さ か、ルスラングに源付してある 生感書を観覧になればさうした 地部時の手動法がよく解ります 地部時の手動法がよく解ります 地が時の手動法がよく解ります 地がしるの野者は極地しろといふし この野者はその必要なしと言ひ 迷って戻ります。

一日の手遅れは千秋の悔となるべし、
一日の手遅れは千秋の悔となるべしないのもごに原料藥の實費預藥開始せるは結核治療上に革新の炬火を點じたるも同樣で全國幾多の肺患者諸氏より寄せらる、感激に流った者は、動なたの肺臓を一歩々を強みつ、愛に悲惨の底に追いやる結核菌を完全に曝逐されよ、それはあなた自身の為めばかりでなくあなたの肺臓を一歩々を強みつ、愛に悲惨の底に追いやる結核菌を完全に曝逐されよ、それはあなた自身の為めばかりでなくあなたの間圍の人々に對しても今が好機です、かりでなくあなたの周圍の人々に對しても今が好機です、かりでなくあなたの周圍の人々に對しても今が好機です、

广上尾久二七三二 世を存分に享樂せられよ。 番地(王子電車熊の前下車)

健協公 會頒藥 ヘルスラングの

だけの心無けが必要があって来るもは実然やつて来るもは実然やつて来るも

御葬れた答へて

一 週間分 へルスラングはお申のあった動台は、直面のまった動台は、直面のまった動台は、直面のまった動台は、直面のまった動台は、直面のまった動台は、直面のまった動台は、直面のまった動台は、直面の表になった。 食慾の生まないのは を変の生まないのは を変の生まないのは を変の生まないのは を変の生まないのは を変の生まないのは を変のなるは、なって、 を変のなるは、なって、 を変がです。 を変がです。 を変がです。 を変ができます。 としても後で歌によって、 たとしても後で歌によって、 たとしても後で歌によって、 たとしても後で歌によって、 たとしても後で歌によって、 を表してもといから といから といがら といが といがら といがら といがら といがら といがら といがら といがら といがら といがら

肺患に惱む諸氏 を答うが丈夫と思ひますが、 の質め専門家に一度見ていたといたら如何です、何不安だとお

單話下谷四一

· 體惠)三着戶一着兒島一枝

高ノ花伊野濱(肥州小濱) 一部(大富) 一部(大富) 一部(大富) 一川の部(大富) 一川の部(大富) 一川の部(大富) 一川の部(大富)

玉大信和 取 和 夫歌 組 碳錦山島

市の疑問

佐世保の航空隊や旅順と オで話した は断えず

篠崎隊長元氣に語る 原村大尉は語る

を盤華資差野山

神ノ貞 島灘島花昇山山里

宮藤販ポカ 川印刷管 原温内久夏寺町四丁日 原温内久夏寺町四丁日 原温内久夏寺町四丁日 日本

東京風菓子謹製

婦産内 人科科科

社會BO國英

玉ス最ス後ル最ル

名

8 酒渍

佐志醫 を新大五〇二番

- Kayarion

電二二二二番

界

酒

00

果物な

5

早川のシャープダイン受信機

ル州山(はたき込)山 錦木 龍(押し出し)併勢ノ濱 産(押し出し)併 ケ濱 棚 山(はたき込)山 錦 棚 山(はたき込)山 錦

大連間往還飛行

デンカハ四四

品品

MARK MARK

8G交流五球受信機

製造元 早川金屬工業研究所大阪市西區報通一下目五

TRADE

新

NO. 31

100%

滿洲總代理店

一度御試食を・ (御一人前山盛十五錢) トキワ橋の果物店 南海洋行喫茶部

ほ攻撃機四機は三変製の全くの

製鑑松音田有

行よりつた

世九日周水子飛行場に飛來した村機九機は借日午前六時出餐、

日本豫選大會の成績

四日目取組

一競技

天 龍舎り切り 大石四ツ後肥州二本差しさなり天龍上手まはしをさり土俵中央でしばし肥州下手投げに出でるか天龍よく防ざそのま、寄り切つて勝ち

夏に相應しい尖端的なスポーツ ベビーゴルフを 大連で最も理想的な リンクは中央

常盤橋瓦斯會社前 ゴルフ場

波 電話九一三四大連沙河口黄金町10 咽耳 喉翼 世の世五 经 吉 院 9 速産 スク富山学

口目の選士權

時までに補貨でいる。大連総大量を

出が、二、三千人は窓口にも寄れるが、一、二千名樂集が神き過ぎて二十 大が、二、三千人は窓口にも寄れるが、一、二千名樂集が神き過ぎて二十 が、要を持つ人々も十般業総介所の を持つ人々も十般な響を学っても まが、二、三千人は窓口にも寄れる。

きのふ滿員の大相撲

應募者八千名

獲得

大日関東縣に出版:

を 本際能したき に成した。 には、 一般のでは、 一般

許可願

有田ドラック

(2)

を見た。「実施午後五時だつた。大を見た。「実施午後五時だつた。大を見た。「実施午後五時だつた。大を見た。「実施午後五時だつた。大を見た。「実施午後五時だつた。大をあしらひながち、若い女の話したあしらひながち、若い女の話は他の手でれた。が、女の説は他の手でかった。」、アイスクリームを命じてなさり、アイスクリームを命じてなる。

中を見難した。見触えのある人の離は、全く見出されなかつた。 アテネ式に周開に棒敷をめぐら

が、カウンタアの上の機動の見覧は が、カウンタアの上の機動の見覧は 持ち酸長な酸にノーブルな外級の るなかつたが、その好器の窓のや るなかつたが、その好器の窓のや で、酸には自続もつけて ないた。 ないが、カウンタアの上の機動の見覧は は、うな暗さなた、へたが長な眼や心 は、うな暗さなた、へたが長な眼や心 は、うな暗さなた。 で、彼は見覺えがあ 失って標かちになった。今恣背後としたが、彼は突然其處に動きた

短臺 敬意を拂ふ霧の

甲板で惚れた同志は月かほめ

目になりながらも、なほ彼からし

(日曜木)

はないし、地方からないにかいたが、それには、はないし、地方からないに、地方からなかが、それにはは、またからなかが、それにも見いたが、それには、地方からなかができるがあるだけで膨大があるだけで膨大があるだけで膨大があるだけで膨大があるだけで膨大があるだけで膨大があるだけで膨大があるだけで膨大があるだけで膨大が、それに変からい。 ▲ニュース ▲第語藤原「テキスト第五十三課」 潘媛學が課秩父同太耶 市旭師

募集規定 「清水」

TO HE THE THE PARTY OF THE PART

通。

ではありま

我们的

料飲强滋

氏治清原吉 士行飛

氏雄松野湖 家國拳 氏子蓉村梅 话日 氏枝菊上尾 家醋舞 氏平晋山中 家曲作 氏稳 田高 竹松

0

又飲料中の最高美味として 天下に冠絶する學理的根據

人アリストテレス以來二千年、幾多の學者が之れを研究してみ人アリストテレス以來二千年、幾多の學者が之れを研究してみれて間が何か一品だけで活きて行ける食物はないか」希臘の哲 な失敗に終りました。

であって、それは我等の舌が之を判定して過れるが、確かに九○%以上であることは萬人の嗜好と賞讃さが之を證明します。蓋し、人體の要好と賞讃さが之を證明します。蓋し、人體の要好と賞讃さが之を證明します。蓋し、人體の要の事がに最も適するものが衛生上一等役立つのであって、それは我等の舌が之を判定して過れる。 を初め、人體の熱源となり動力となる諸種の糖類、勝胃の病菌質や骨組織の素となり又體細胞の成分となる高級のカルシウム質や骨組織の素となり又體細胞の成分となる高級の蛋白質や骨組織の素となり、質組織そのものを造る高級の蛋白 を滅殺する乳酸、活力を附與するヴィタミンなど何れも完全に 含まれてゐます。 うます。故に

飲料に勝つて賞讃されるのは全く如上の理由に

りません。

(-)

米長官ドイツに慫慂 袖珍戦闘艦の中止を

を職るべく秘部の事か監控術員以 を職るべく秘部の事か監控術員以 下は重役會議にて決定せる整理方 で大々選低者の鑑賞を舞しついる ったが高絵社員は二十八日の重役 のたが高絵社員は二十八日の重役 のため、高絵社員は二十八日の重役 のため、これの、一人 をいる。 では、一人 できた。 できたた。 できた。 できたた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。

內所 大阪鮮滿案 高砂政太郎 大阪鮮滿案 高砂政太郎 大阪鮮滿案 高砂政太郎 大阪鮮滿案 高砂政太郎

藤井十四三

人江正太郎 信一

佐大 佐 藤 西 藤

久保田忠吉

永尾 龍造

本的建直との方針により古多社員満頭においては正副總裁の社業根

街の登会は八月一日附さなるので あるが總務部人事課は二十九日午

計書部次長 向切盛一郎

主なる勇退者

けさ各部長より申渡す

するべく、之に作ふ人事美駄及び

は二十九日午後は務省の正式認

に目安を置いた譯で全部一應待一社を罷めても困らぬ人さいふの 一社を罷めても困らぬ人さいふの 一世 かっここにしたのである、大體

給與「約二割減額

時間意見を変換したが経験清銀令

後腹緊通り認い指令が發せられた。
とするは魔る時宜に適したるものさ
の変を及び総典の吹正を配行せんさ

支社廢止等

全然誤傳

八件費の節約四百萬圓

一般なされる人性質は約四百意画、 日實施の等である、今回の整理で 日抗務者の認可な得たので八月一 日抗務者の認可な得たので八月一 日抗務者の認可な得たので八月一 日前の等である、今回の整理で

なほ社直給奥吹正は解検民地官吏 はまれること、なつてゐる

登理、目標に

廿年前後勤續者

全部一應待命ごした

江口滿鐵副總裁談

滿鐵の新職制と給與改正

一故人」だつたら

後みりり

『漢口二十八日餐』 漢口北方五十一 じまつた

共匪四千名變擊

の御承知の通りです。

八時中長春養松連起ケ浦ヤマトホ

テルに限三日滞在するさのこさで

能電の型 は無共の を配子

横家店驛を

もしアメリカが

出来たのだが、その智時者は皆 夫婦の墓石の際幕式が径は 一人で二萬五千弗も出し

拓務省認

のツーカー砂粉だの、ジセス・ 郷がありとれは大抵「『 軽かき」だの、 府は、程をれは大抵「『 軽かき」だの、 府は、程・ でのグ人で、停墜格 これまでは、 でのツーカー砂粉だの、ジセス・ 郷があります 炭礦部灰長 築島

線がありませんでした。今日は

グランド以来の腐敗政府でした

れはオハイオ

が一記もいはなかつたのは、ア

メリカがまだ「故人」になって

めたものと、「いくては明年度像算

は何うすることも出来なかった

んな大統領を生きてゐるう 大気な形飾もあったものだが

空氣の中から現る

生活を残して

恐び、計し、おれられんこさを

君及び我邦に御願ひします」

て花輪を彼れの墓前に捧げ

高級者三名、それ以下總計百五十四名に称ることになった、信祭後氏は郷代する。次に聞村化學縣

名も來心さ『撫順電話』

賞紙して居る右につき大淵滿鐵支が如き滿鐵新幹部の英節を娶って

課參事增田 金田 直次

泰雄

『天津特電廿九日韓』零、孫殿軍』軍の便太院敷千名は保定、漁州間『天津特電廿九日韓』零、孫殿軍』軍の便太院敷千名は保定、漁州間 定州で敗北せば

地質調査所長 **極地** 地 事所 長石 奉軍灤河に退却

作者を総合して書

人軍は保定を失い

寸捨身の形だから

汗忠一氏 (関東廳衛生技師)

とて燃州、関対な攻略

郷を攻撃

戦中、孫軍がむったので中央軍の 新郷附近で中央軍さ衝突も目下交 / 新郷附近で中央軍さ衝突も目下交 / 孫殿英軍と衝突 中央軍は北進不

可能

受け死に物狂のの進出を試みるべ 廣東政府

吳張兩氏が打電 北平にある吳纖

鐵道部次長 鈴木 二郎 計課長 三宅亮三郎

同土木課技師市湖

萬寶山交涉 抄らず

味の素よりはききめがなかった。

0

調像に日本をだしに使ふ、

が、安那郷に戦撃を歴住せらめた が、安那郷に戦撃を歴住せらめた が、安那郷に戦撃を歴史の間に獣 場合せを行った が、安那郷に対して

満洲産婆の資格

内地と同様に改正しやう

黑井關東廳

保安課技師

森下知次郎

市梅川津

撫順炭礦の

異動症

漢の日本租界危ぶし、 へ水だった。

豆臓時でも個数のは恐ろしいさ

などさ充子は云つたりした。 はどさ充子は云つたりした。

こんなのなら切られて見たい。 船の機ださ思ったら、流金の職、千数百名の首切り終人事代、流

軍人さんである。 側の金塊を購つた、やはり支那の同骸したち、花女三天港で三千萬 死だぶし、又かさ思

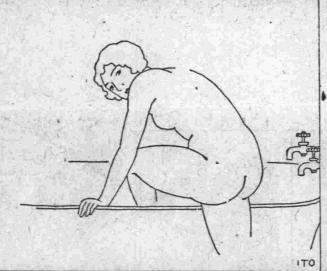
食ふ鳥めの死物狂ひの戦争かさ かう云つて自分でも嬉しさうに笑い、「でもお螻さまお名残惜いのい、「でもお螻さまお名残惜いのといっこんなこと云ふの感ですけざってもるの歌なんですのよ。」
などと云つたことを思ひ出して をお家へお連れしま

が、好きで好きで化ががないんで たんですけれど、今では翌お敷傷 だの傾さして、此島へ誘機して來 戦お兄様がいらつしゃつて、貴女一 して何時途方も無い危険が

こんながの人つて初めてだり。) とい所があるのであつた。 かり云ふの観點なご容易に使けな いのいつも本當のこさばかり云 しかし監が解生活は、 恐ろしいやうな所もあつたが、

▲松下金雄氏(旅順要塞参謀) 同

一時部後男氏(倫敦日本大使館員)



島吉郎氏、元滿纖北京公所長 木陸卧氏(中日實業副總裁) 市太郎氏 大阪工業大學教授)

製山技師の三名、百五十個以上の ることにな 機械課長、志岐東ケ階採炭所長 長州二名の 格機械課長、志岐東ケ階採炭所長 長州二名の おことにな 甲の便衣隊活躍

いた。で奥山屋に引着いたので 大いに責任を感じ緊張して来たがこ、で奥山屋に引着いたので 大任に過ちなく果し得たので は、これに引着いたので 對支問題ご

内地の輿論

高木陸郎氏談 拓務廢止反對

中日實際公司副總統高木陸即氏はサカ日入港はるびん地で来連む木を活の支那時間に難する内地 られん事を挑響す、この決議をなられん事を挑響す、この決議をなる、のみない。 一般同省の機能を養揮せ CT. 在住邦人は二十八日振都省の転置

二十九日入港はるびん丸にて歸

「洋子さんご安心なさいませ、今一 彼がは眼を閉ちてちつさして してあそびに お世許も云はなければ自己歌場

を含して同様数様に対いる答が なる管は大脈、対部、農林、 なる管は大脈、対部、農林、 なる管は大脈、対部、農林、 を表現した。 愛然受難行

から蝦夷に野康し、伸虚になてもなくにある。 一さういふ女であつた。 一さういふ女であった。 なうな、なものばかりに終始してゐる、郷 をここは「他等の新鮮もなければ」 そここは「他等の新鮮もなければ」 なまでになってぬながら、とかも、 なまでになってぬながら、とかも、 ではまでになってぬながら、とかも、 でまでになってぬながら、とかも、 できいかがら、とから、 できいかがら、との 郷他さ、朦朧さ鬱深比べ――そん 速風そのものいやうな者ば、 從來交際つて來た女達同族の女 ものを云へば、お世籍

4

井上藏相乗り出す 藏相海相訪問 大學長期上際之助際士は二十九日 同大學名點教授の名稱を授けられ 同大學名點教授の名稱を授けられ

愈よ政治的解決 各省豫算節約案に關して 井上博士は 工大名譽教授に

機能でおいて在連中関有力

國有志招待 けふ内田總裁



ハウスド

型紙つき作り

種を全意者へ無料で開きてするので大部分大賣行です を全意者へ無料で開きたまって終 呼音がしている。



があった歌明五時のころ、大連就 社の家道には白シャツ一枚の整理 な芸術観く、戦前に縁乗した後更 な芸術観く、戦前に縁乗した後更 な芸術観く、戦前に縁乗した後更 な芸術観く、戦前に縁乗した後更 な芸術観と、戦前に縁乗した後更 な芸術となった。 な芸術を表する。

山頂の岩に四肢を踏む

学製は昨一日の生活の橋で活わた 一杯吸った常純な糖の

天を衝き地球を廻す修養團

を終

バーク大佐大妻は二十八日午後ワ

大雷雨に遭遇

ボストン飛行家ラツセルボードマン及びジオンボーランド・瞬氏に ルコン間の無整線飛行を行び動く サカコン間の無整線飛行を行び動く 世界長距離飛行記線機立を目鏡さ

紐育土耳古間

日本租界も危く

漢口全市に浸水

海賊と間違った

けさ芝罘から便船で歸った

拉去された邦人船長

水の荒れ狂ふに任せ

十着陸十

リ大佐の大飛行内容

東京さで

博場に早替りしたり、カフエー電流行熱が嵩まり球突場が解省

帰雀俱樂部の

經營を許可

やつご大連にも産聲

一、客より徴取する一切の料金は一、客より徴取すること時は属出でること時は属出でること 場内は十坪以上さら境界を設

航空隊の大村大連間、佐世保大連『京城二十九二登』大村佐世保財 朝鮮を飛ぶ

居直り强盗

馬車の乘客が

製造版を ・大博士の 療人俱樂部八月號で が成立した ・佐藤士の を表した ・佐藤士の ・たんで ・ためで ・たんで ・たるで ・たんで ・たる ・たんで ・たる ・たんで ・たる ・たんで 心避姙法 目醒ましいものがあった

馭者を脅迫して强奪

名勝俳句募集

は左記筒所に於て精々親切迅速に御取扱致した月三十一日限閉鎖のことに致しました今後と月三十一日限閉鎖のことに致しました今後とは左記筒所に於て精々親切迅速に御取扱致しますから何率御利用の程風ひます

はてい

でない。

チップ御鮮退……

當前社預割假保未借諸資 合期期身 利線元リ戻受證據入 本 資

(5)WOOO 重花深語電 店商即二大井極

柳鰻鰻蒲鍋井燒

三六一十五錢 圓

うなぎ

ジャバンツー

連 案 內 所伊勢町五四電五五日四

黎

杳

電の四六三番

でおんなとう 日本橋商船切符發賣所ヤマトホテル出帳所ヤマトホテル内電コーニー

隔槽八月號發賣 4年間: 第四十二十五條章

大量市西通八十四亩地

セルが厚司

大連神社の月次祭典が教行する

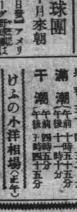
興費に窮し

禺引を働く

若い中央試驗所々員









新進選手が この日機器に着いた を表するべき我が風代表 が、水が削削を にあべき我が風代表 の日機器に着いた **水泳豫選大** 質 北極へ **壯途につく**

宛(電社内二六七七)申込まれた。 電社内二六七七)申込まれたが使用中込 解放するが使用希望者は鴻鐡販賣部森田康太郎中

帝王の煙草

發兌驟競光芸芸の研究社

煙草の覇王

店商川西

育成軍一勝 全國中等學校 ・ 一勝 全國中等學校 ・ 一郎 全國中等學校













三十日、三十一日 **浪連** 速鎖 町街 三割引 四割引・二日 五割引 ニニニーの番



哈市で群司次郎正氏立往生

た、微氏の素態はもこよりだが微だっとはすつから費ひ果し濃熱に をでの影響な同様生活で用意して がきの影響な同様生活で用意して をである。最初の像定を變へて例々

飛機壯途に上る

途に上つた ・ 後七時二分)ニューヨークブルッ - 東京間無鬱陸機械を行場をのフロイドペネット派 ンス機は八月一日出發する模様でクリン郊外のフロイドペネット派 ンス機は八月一日出發する模様で

勤績社員に金杯満鐵創業以來の

犬のひごり旅

元の飼主

紫檀細工製造責任販賣支 那 土 産 品、麻 雀

大連市伊

功勞者は積極的表彰

鐵創業以來の

殿に外事課を訪び一當時の既況を説明した

佐世保ご大村を出發

モスクワ到着

世た後二三日前彼氏の留守中に家一部はドライブ、終遊びさ二人で 一部はドライブ、終遊びさ二人で

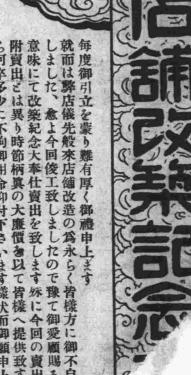
職者における思想問題院都能定の め法院司法関係の知名士多数の出職者的完めため関東職から留事を 20人があった、関色ホームスパン調査研究のため関東職から留事を 20人があった、関色ホームスパン調査研究のため関東職から留事を 20人があった、関色ホームスパン調査研究のよりは発行で「長い関係の知名士多数の出職業における思想問題院都能定の め法院司法関係の知名士多数の出

けふ歐米親察から歸任

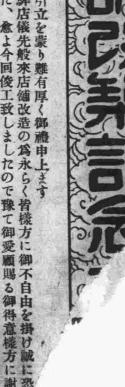
成をなる、語彙を輸

塘沽行に改正 天津行旅客切符

月 大地、敷活間のは沖線付は減水の 高付し得ないので消費では実治で表 物車にて天津に起き貨物は「大津で表 所で盛揚げし一部は「水源が低」とない。 新に極いので消費では天津で放 が、関に厳容は明治にて上陸し で表 が、大き貨物は一部同



ち何卒多少に不拘御用命仰付下さいます樣伏而御願申上ます勝賈出とは異り時節柄真の大廉價を以て皆樣へ提供致す考へで意味にて改築紀念大奉仕賣出を致します然に今回の賣出は從來しました、愈よ今回俊工致しましたので豫て御愛顧賜る御得意就而は弊店儀先般來店舗改造の為永らく皆樣方に御不自由を掛毎度御引立を蒙り難有厚く御禮申上ぎす





七月廿日より州

一日まで

日

阿

修

(139)

のがはそりみの板で、黒く塗った瞳子が四方に填められてゐる。高さは六七尺、灯出來てゐる。高さは六七尺、灯出來てゐる。高さは六七尺、灯出來でゐる。

は悪態としてしまふのだが、青はそりっしてしまふのだが、青はそりっといよのでした。小見たいとしてしまふのだが、青はそりっとでしまふのだが、青はそりっとでしまかのでが、青はそりっというでしまからいよので

こさを思ふさ、迂瞬にに近よれなな場所を思ひ出して或は――さは思かが、やはり智敬に田郷がある 紅薔薇のやうなお佐意の方の女でた。そしてそれは『像通り、あの び、職になる後を党で、現は を中かこそ悲しみ締ぶこさの配合。 を中かこそ悲しみ締ぶこさの配合。 を中かこそ悲しみ締ぶこさの配合。 ではなる後を党で、現は を中かこそ悲しみ締ぶに、我は を中かこそ悲しみ締ぶに、我は を中かこそ悲しみ締ぶに、我は を中かこそ悲しみ締ぶに、我は を中かこそ悲しみ締ぶに、我は をかっ、月の後頃を歌 今は先非な悔ゆれごも

登錄確認 施行規則

品作影撮係報弘鐵滿 品逸の開公占獨座當

議院選主夫信岡浅●●歩吐田内督監●-●●懐子かた江入 変助●第一募本山ンヤジル

チリ紙は福盛暖

た典 中に変変低恐清室 はなか廉切楚料

爾語正八五塔

削程流力強殊特新最

室料

和洋式

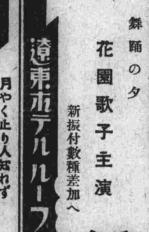
本與

株表七六四十

院醫原相

橋ホテル

花 踊 園 0 東ホテル 夕 歌 子



行 ヮ

を設備 特等室 HMCXX、

天工工

强超

更新什)

大三封切日

盤

座

うなぎ丼

五十

夏

0

お履物は

劇代時アモーユの督監作萬丹伊 姚の僧小氏源たれき開公にきき の吸呼的代近きへふ云もご無妹 れあ見必●蓋映劇代時きとら新

~給見!組番名の好絕る

の封堅切

大学・十二時五十分より 一一階の 地 一十二時五十分より 一十二時五十分より 一十二時五十分より 一十二時五十分より 一十二時五十分より

廿六日封切

一日

問限

す服征を夏

へ巷の戸江復又がたつなに氣堅はび度一も僧小氏源盗侠

綠綬褒章 下 9

3

重、南京虫退治に一番よ!

(はて何時もの女中選の対さち

これはお佐意の方の野路

 \equiv

◆対談性さいふのは、設が耐役 要太議議さいふのを確つたが、彼 でもさいふ大選数に批した。そ

に振し、環羽さ共に観撃し、戦闘をから、戦闘をいふのを置つた。彼は関

際した。一般した。 観光の唱来を

暑中 0 北平辻

さ思つたが、ふさ使か更ゆかしい。野職が出して補をさぐつた。手時、思ひ出して補をさぐつた。手時、思ひ出して補をさぐった。手時、思ひ出して補をさぐった。手時、思ひ出して補をさくしやくし 「やつればてぬる旅客、旅客、捨っている身なれば恥がられず、一夜

れてゐるここは常際無難以上であれてゐるここは常際無いので、 またかと思った。大勢の内部の凱・またかと思った。大勢の内部の凱・ こ手紙を投げ込まれた。 もさの補に入れて、腕ぐみ

電四四九

番

滿洲日報社廣告

部

院

8

日下植料路院電は三大もお

つてゐた經濟界は時 収債のモラトッア と吹いて

ラ景氣の正體

した十年來の不景氣病が之で治れば文句はないが、サリトハー~皆樣の三井吳服店は景氣もふ景氣も眼中になく………人間樣低かに日本晴れとなりドイツもこいつもイギリスたち。ふるアメリカをフランスまいと狐と狸のわたり合ひ。骨の髓までもムをゼンサイのモチとアンが棚から落ちて來たかのやうに考へたのが世界の人氣はガラリと變り今まで闇の中で牛の尻を探 うてたまらんのであります

綿絹

八月

日はり

五日まで

全商品

今が夏もの経好の

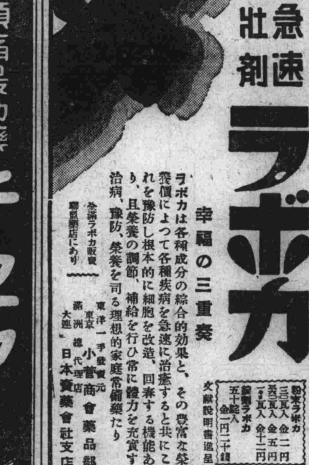
お買物時

売出

爲七月世一口乍勝寺休

新 清 削 脳 頭痛最効藥







1 元人 金二円 元の元人 金二円

沙河口勒商場電九九七一番浪速町三丁目電五七一八番



SHEET S WE BE 西海

式健腦法は 图 题

0 愛用上限

日本實築株式會社大連市沒速町

具蟲立 斃藥

波瀾性に富む

麻袋取引の話

黄麻工業の受難時代

なたるエンデンの概念が四邊 かたるエンデンの概念が関語された。

五年、工場の名は一番を成したも

突然中止に決定す

磅爲替の好轉にて

確定的ではなかったのではなかったのではなかったのではながのではなかったの

日

か 會社の職制改正及び人

三十日までに 人事正式發表

紀交通電か

電電は本日野日經濟經交通電 た 登 「東倉は本日野日經濟經交通電 た 登

撫順採油は

を の大笠線ジエー・ 金の砂線 かの有力

460.0 201.8 40,429,3 6.160.3 1.611.0 1,280,8 1.652.5 19,518.6 4,420,9 1.314.6 1.629.7 13.1 240.2 313.7 70.1 671.9 37.1 80.3 155.7 427.7 675.9 11.3 1.400.3 2.470.1 789.7 424.6 12,448,9 6,390.6 1.160.1 670.8 99.5 28.8 3,286.8 1,6 77.9 1,031.4 1.102.8 286.0 778.3

だが昨今のやうに駆化して居なか も及んで来て養麻工業の機みが現は が昨今のやうに駆化して居なか も及んで来て養麻工業の受難時代 を摂象した。こ、にも経資本主義 を摂象した。こ、にも経資本主義 を摂象した。こ、にも経資本主義

では八月一日より合同後の一規 京城特電廿八日盤】朝鮮運送會

職制、人事問題を協議 あるが如何なる方法により統制 も思つてゐる さ思つてゐる

商民側の主張貫徹す 数したものと静物されてゐるが、 同、一定職の得る繁楽上の打算より出 に就ては工作さ販費さの長短を根 地 市 市 に就ては工作さ販費さの長短を根 地 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 三菱と日産系 やく接近う

松花江の交通

シンチケート解散

モルガ

出來不申

参豆柄◆後 (弱保合)

況

天津注溯航

の大連

安東 行

國際運輸檢試大連工

第三十九號)

國貨陳列館

奉天に設す

商業般展策に

満洲土建協會が

(四)

日支協定と税關假規則

州内工業の發展を阻害するご

近~支那側に交渉

をでは三百五十萬個さなってゐる というでは、 ででは、新店の有質冷勢加者及び舊店 を期での合意参加を認めることになった。 を期に來月二十日頃第二次増資な、中でも が更に來月二十日頃第二次増資な、中でも が更に來月二十日頃第二次増資な、中でも を期になってゐる。というでは、 を期になってゐる。というでは、 を期になってゐる。というでは、 を知った。 できる。 できる。

海關設置の

政府要路に陳情 けふ榊谷會長の名で

況

二一時時 銀對金

内地株績落 一個安さ軟調を辿り東京短期の東新ら八十錢安を翻落を入れて當市 も五品新豆錢鈔共弱含み商狀を呈し東新は一個四十錢安施紡四十錢安施 が當市は割合に下流り東京短期の東 が當市は割合に下流り大七十錢安 市が當市は割合に下流り大七十錢安 市が當市は割合に下流り大七十錢安

綿糸 米棉安株

豆

・ お間等へられるが、右に関も総

有利な るよう修正すべ

日貨排斥の

取締令を發す

機關設置協定及關東

『上海二十九日賽』交通部階局は
別に處す

きのふ國民政府外交部

ゆべからず、若も強いてこ」に警察器に對し同性命令とた租界内で一貫を検査し又は、この日貨排斥取締令を養すると共

四課制をとり

新規營業開始か

中野、千秋雨取締役入城して

器を請願を決議す

反日援僑大會を開催

(展別を辿り高粱は無付商駅 の定期は何等特異の材料なくの定期は何等特異の材料なく

等付付 七四四兩五 衛 位 七四五兩四 安 位 七四五兩四 七四五兩四 七四五兩四 七四五兩四 七四五兩四 七四五兩四 七四五兩四 七四五兩四 七四五兩四 七四五兩四

八四七段

たので多分三十日新職制さえに配ってある上十七十年後招移役の窓中を持ちるの歌中を持ちるの歌中を持ちる 多分けふ發表せん

がある、吳光新氏を始め多士孫々

一般だらうが、こちらさしても触く とは一空がからかも知れない、誰 がは一空がからかも知れない、誰

は二十八日職名で反蔣張通覧な登

山西軍將領

反蔣張

通電

五萬大連

拥者に

での話してるた光子の娘だと知る。 でい安い態度になった。 でいった。 でいった。

「わなたにちょつさお話したいこ

そして彼は新吉な緑院の附近の

上人に

たので、新吉はほんとうのこさを 打明けた。するさ選子はどつきり を重味のある心臓のはいつてゐる

牛莊、安東縣、奉天、長春、哈爾賓

業、造船業及附帯事業、運送業、

保险並に船舶代

部の印刷物を飛

衛子は病院の費用のここをきい

新さは、をゆへに和幸な協選

品

物質石類、織物質、恒、酒精其他工業製品、木材、硫安其他化學肥料、酒精其他工業製品、廠袋、木材、硫安其他化學肥料、酒精其他工業製品、廠袋、木材、硫安其他化學肥料、酒精其他工業製品、廠袋、木材、硫安其他化學肥料、酒精其他工業製品、廠袋、水材、硫安其他化表)七一〇一二

せいつた。

同代表間に調明された全女十二條 を本日午後六時歌地において佛女嗣 を間門運跡に関する佛女新脇窓は はいて佛女嗣 廿八日調印終る

数日中に行動開始 ちといが北東河に こさである、現代

氏は去る二十五日部に北平を去り「る事さなり龍泉関、娘子関方館に「上第二十九日登」なしく称繁な「一本版三軍さ様呼吸して眺起す」には軍事行動に移る秘勢である観望してゐた山西軍總指揮徐永昌」(一項版三軍さ様呼吸して眺起す」には軍事行動に移る秘勢である。『上第二十九日登』なしく称繁な「平級銀道によって太原に歸りいよ」兵の集中を開始した。「週間以 度いさいふ意見 退院するさいふ

龍泉關、娘子關方面に兵力集中

田 生なここだらう、木は理事の軽天然経路は新城で見たの

て、大褶が無頻漢にやらせたら

に解かずりめた。

ボイラー管

在庫豐富

建築材料商 《 藤川篤助商店

電訊原四六三九番大連市大山通一四

潤子は、急に難をひそめた。

能率を増進す 燃料を節約し 優秀なる構造は

(蒸氣温水二種あり)

「それに程、妙なことをさいたん

ページボイラ

『門司二十八十菱』二十八十 職長の談によるで競學良氏は二十 四日夜十二時天津菱弾車で軽大に 張揚げた模様で列車ボーイもこれ を裏書したさ 光に

あの日本漁業のですか?」

山口みづき 之助

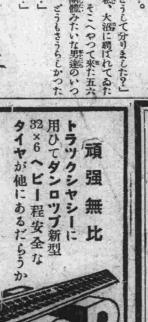
きらめく砂金五 頭子の非人間確な壁屋を見せつけ - かったや、壁ケ瀬の植巉脈で、あの 人

変 職者らしい女があるので異様な眼なでればにあた。新吉は仇ッぼい越の権職隊をさび出して、解院へかへつて来るさ、選子も養くなつかでませいがあるので異様な眼を



「さうなんです……」「さうなんです……」

ここで、ごうもさうらしかつた 「・ 一 ですが、そこへやつて来た五六人の紫力戦艦みたいな男達のいっ 人の紫力戦艦みたいな男達のいっ たこさが、ごう







はきから、驚笑跡だ、触楽時ださるが全の中では、ほんさうの戦勢が、戦変中にこれが、ほんさうの戦勢が、戦の中にこれが、ほんさうの戦勢が、戦の中にこれが、ほんさうの戦争が、戦の中にこれが、ほんさうの戦争が、戦の中にこれが、はんさうの戦争が、戦の中にこれが、はんさうの戦争が、戦の中にこれが、はいいには、大道、大きの戦争が、戦の中にこれが、はいいには、大道、大きの戦争が、大きの戦争がある。 真の同様や真質はないのだ。 らいゝちやございませんか、お金「そんなこさおきゝにならなくて

基 関東州水産會では八月孤領決議員 ンス就カフエーの郷紙を入方 會を開催、昭和六年度對行後第及 大連默水廠田惠務等より郷 交換があつてあるので出版であるが、賃貸業賃は年度初め 人さするものであるさ

評議員會

軍閥の誤を正し 憲政の向上を期す 有志代議士會の意見一致

を総出する響楽を観出する響

就いては撃天の

省廢合問題で

はけ、日午後二時代本部に開き、原(大) 中合せをなら今後一層軍権の党理 とする「対しが、兵力は関防の一部分に過 を期する事さして四時代設會とた の部果、兵力は関防の一部分に過 がおいが、兵力は関防の一部分に過 で認、低田以下二十餘名出席論語を期する事さして四時代設會とた のの部果、兵力は関防の一部分に過 中合せをなら今後一層軍権の党理 中 合 せ

三相重要協議す

「ちゃ、さにかく強って置き 一九三一年式 特長燃料節約

店



退職金五百餘萬圓 廿年勤續の參事、技師退職者は

日午後には決定養表さる、管理を得るに至らないが連くも三十一次を得るに至らないが連くも三十一

| 「東京廿九日登」欄府のヘーグ條 した、なほぼ木委覧は特に政府の 数型の密 を行った結果條約締綿に致る政府 り近く女書文はその他のが拠によ 協定と略同様で入月一日・ 「東京廿九日登」欄府のヘーグ條 した、なほぼ木委覧は特に政府の 効力養生の共同租票特別を行った結果條約締綿に致方の本質は中国 なり成りその内容は昨年日本行った結果條約締綿に致方の本質は特に政府の はり成りその内容は昨年日本行った。

徐永昌氏愈ょ蹶起

約四萬七千圓入る

『東京二十九 - 登』北支殿派につ | 欧本町は高東の保証出職後行動 | たならば一時同地に留まるであらき歴述東州に塞した情報によれば | 又川西町は高東の保証出職後行動 | たならば一時同地に留まるであらる成立に関する。 | つてあらうが高東が充準を出観し

奉天側は時局樂觀

張作相氏は學良氏の歸奉を望む

林奉天總領事來連談

退職者確定數

人嵐の日の満鐵 勇退者の悲壯なる表情と 首がつながつて喜ぶ人々

| 公式百人からの犠牲者を出し | 端鏡本社の隅々にまで知れ渡った | 傭鼠の遂伝者は恣歌 | 千五、六百本海鏡の瞻眺吹正、郷豊郎紋 | たこさは早くも二十九日午後には | 幌名あり、事務鼠、技術鼠以下屋 | 保等のため同日養表を惹擦へた者

以蔣張各派の

暗中飛躍

十 は、反称、反動に を表示的に大きな で、後の者が で、 で、 というの数人が 経験の で、 というの数と で、 というのなど で、 というなど で、 というない という

第によりて聖線を解しいか代金さ、配して一般の概下地に野江ることに大橋の履行條件を設定しこが付金を関立しことは、一般の概下地に野ゴる

解除の場合代金を派還するこさに抗らず此中央土地の分に限り惣紋を選取するこさになつてゐるにも

神童 規則 に照せば明かに

心もちは爽快

毎朝三四十分間を引く

元氣な若槻首相

りぶ夏銷の公諸臣大

矢が的に中る

生僧さない課です、然ら人生に若らくは避寒哲学の持合はせば若らくは避寒哲学の持合はせば若らくは避寒哲学の持合はせばおしていません。従つて私には領見ありません。従つて私には強力を持ちません。

いた後の身體を静かに韓風呂に突轄の運動を弓に注ぐ首和は一代か

かつたかッてそれは一

貴族院各派で

を撃退する消化、殺菌

四ツ目印

MA. 6909

にんにく葡萄酒

飲過喰過に、

營養不良に、

斷然百度の灼熱夏を征服し病菌

THE STATE OF

(日曜木)

日

殿に於て賦會の智で窓日振繋さるの娘く八月四日午前九時より開東 殿に於て賦會の密で富日堪裂さるの知く八月四日午前九時より陽東の知く八月四日午前九時より陽東と認めらる、各種用水の水源の知く八月四日午前九時より陽東、陽東長龍の路間事項は、陽東長龍の路間事項は

用水問題を解決 州内工業の發達を圖る 臨時水源調査委員會への 關東長官の諮問事項

差対なしさいよい サエ業が

るる昭和整綱所も必ずや大連神近 では既に右の如き用水事間から州。 では既に右の如き用水事間から州。

無問題の無決難ななも熱厭を以て 一般の最終山間題は小澤氏熱脈を に職国の異報山間題は小澤氏熱脈を に職国の異報山間題は小澤氏熱脈を

飛江氏は開秋問題を述べて悲痛な述べ、滿州邦人の決意を慰へた後

大概なさして世

るさいふ

威所定時總會

常議員五十名を改選

の調査を終へて二十八日夜睡速との調査を終れて二十八日夜睡速と

高崎弓彥男歸連

『神戸特體二十九日』流鐵駐間こして腕梁の昭和黙鵬所を中心に満洲の工業家の新指導者たる事を内田總裁さら含つた上でなければ何も話は出來のが來春大學を退いた上は異心この仕事に努力する昭和製鋼所から手を着けるでうにならう。満洲の富瀬はまだ工業家により開拓の餘地を幾しても昭和製鋼所から手を着けるでうにならう。満洲の富瀬はまだ工業家により開拓の餘地を幾しても昭和製鋼所から手を着けるでうたならう。満洲の富瀬はまだ工業家により開拓の餘地を幾しても昭和製鋼所から手を着けるで、たれも顧問さして腕梁の昭和黙鵬所を中心に満洲の工業家の新指導者たる事を内田總裁さら含つた上でなければ何も話は出來のが來春大學を退いた上は異心この仕事に努力する後日である。

一般のて目ばしき工業が起されては減底は能工業の探覧・人の好きは順深り、 の好きは順深り

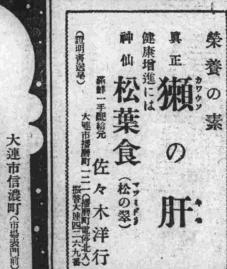
総職でのたが、 大学ではより 職でのたが、 選ば、 ではより 職でのます。

重大視 表された▲よく出来て居る▲軍隊 けて見るさ肚の中はみな真ツ赤だった▲この「私」は残論ロシャ式

米國チスホ

一、五二五〇 家冥裝飾 物濟語





九八二五

日下齒科醫院



命可河三堤広西市連大 卷 O - 四 五 話電





共他 宿泊料のみで……一泊 金五十銭 共他 夜 具 賞 料…… | 夜 金三十銭

『東京二十九日登』二十八日午後 の政友會本部における同會總務さの の政友會本部における同會總務さの の政友會本部における同會總務さの の大きなける演響問題大談版作に個 がはおける演響問題大談版作に個 がはおける演響問題大談版作に個 がなり東日地能の鬼の内に認識 がはおける演響問題大談版作に個 がなり、これでは同六

麻袋變らず

綿糸强保合

滿蒙問題講演





*

*



標金は動かず

鈔票强保合

長項群山間汽船連絡京城群山間所要時間七時間

野全線開通 營業 籽廣 額 金

當市强保合

(=)

社

說

簡捷化

は尚下

一業家により

實務的改革が行はれ の利便も加はるさ共 でもては整備刷新の

◆夜の朝日町を通り扱けるものは

学でに和して深葉まで職 学のチャズ書音器と無遠

ダンス研究場

住民の迷惑

貴院研究會に

内以行十五 迎款書投 すらさは曲中

仕事は製鋼所問題から始めやう

餘地が

あ

が終出師の動きによりなり、しかして最後にその

大連問

親再教育協會が

廿八日創立記念講演會を開催

のであって、ことに監然所親の自己修養と衆庭の向のであって、ことに監然所親の自己修養と衆庭の向のであっ、良き所親良き家庭といふは単に本、まれるのである、良き所親良き家庭といふは単に本、まれるのであって、ことに監然所親の自己修養と衆庭の向して、ことに監然所親の自己修養と衆庭の向して、ことに監然所親の自己修養と衆庭の向して、ことに監然所親の自己修養と衆庭の向して、ことにより、それは、一般の自己を表示に搭

神戸にて

斯波滿鐵顧問談

關東廳事務の

武千萬圓

水さはで、子供の燃操が始まるで、わめでは黒い臓やがいて来て海の山の間、で、わめでは黒い臓やがいはで、それがもくの中へ消えて行きます。 しくわのやうに、ほかんとがよって、それがもくだったが、ほこんと並上つたり、づくかのやうに、ほかんとがよって、面白さうに遊が、すいでもようにも、これでもます。

バラックの中から小使のお爺さ

よし」一人の子供が又

投げた石ころ

さ

がラックの裏でなけるやつて がったづらを始めます。

てゐるのです。

はごこ没行くか、みんなで投げ合い はふの水たまりを越して、さあ

「あぶないぞ」
「なに、やつつける」
「なに、やつつける」
「なに、やつつける」
「なに、やつつける」
「なに、やつつける」
「なに、やつつける」
「なに、からがいるからがいるからないをはさんで近よって楽ます
たまりをはさんで近よって楽ます

草の中から、

シャ人が飛び出して來ました。な にかいつて、ごなりながらやつて

高空大に奔ーは達女乙!ツイハても意用はでれるあきの美康健。我四たいつ肉さチビチビ。るすアムヤジく 夏に令號い強力さリシッガは達んさ娘い者たつ切チハ うせでメーボるた刺激たち前に氣生はれるふいさん何!「姿の精跳の女乙き若」る上れ跳く高空太の すでアッナスの智様外野が達んき子弟おの氏漢井石家踊舞るけおに丘ケ由自外市京東はれこ

切花を少しでも永り

▼體裁

叉賣切

となる

本申込次

ス

生々と保たせるには

莖を水平にしてローソクで焼く

日

年

六和

る関東州内では彩だこれでも通る

關心を持つて頂きた 高越機 村井榮 藏氏談 すいふ動記に智慎づけられた日本 りこんだらごうでせう、排日問題 はないでせうか、國民外交の整がいのもこちらにある日本人の大きな必能にてまるで排合では、 を取ましい今日、特に一者を関けていることを認いてさりた。 のが大多数ですからは総かに乏した。 のが大多数ですからは総かにことでは、 のが大多数ですからは総かにことでは、 のが大多数ですからは総かにことでは、 ことを強心などまるで排合せない。 のが大多数ですからは総かにことでは、 ことを強心などまるで排合では、 ことを表しないる。 これた見智のたい。

伸子を使ふこと

砂無純 ぬ作組用か 太甘即栗

風と旋津

戸の潮

はですが、既に無常育に入った大人 した事本がにいっても何時もから した事本がにいっても何時もから した事本がにいっても何時もから を作るをさせられます、以上 場合した職った事でなく にいってものですれ、対土 は何も騒人に殴った事でなく にいってものですれ、対土

(可認物便郵種三第)

満一洲一の

體育衞生力

着物の丸洗ひに

寫眞を中

とせる獨特

剖

3

其水は如何にして出來、

をの都度傷めて行く事になります。 出來るだけ認命のある限り一枚の 着物を用ふるのがよいのですが論 ですが、微徹によってごうし でも傷みが出來ますから一枚をな でも傷みが出來ますから一枚をな なつてゐるか、潮流 ▼內容 機崩、船舶の種類等に至るまで、無慮五百の寫置題に至つては最新の航海術から、海圖の見方、羅ル船、カニ工船等の驚異的事實にまで說き及び、 1、 ま角度の方法、就中近代漁業の代表であかざるものがあらう?本書に表言・したなく、

水の化學 で成本の物理 で、成本の形状

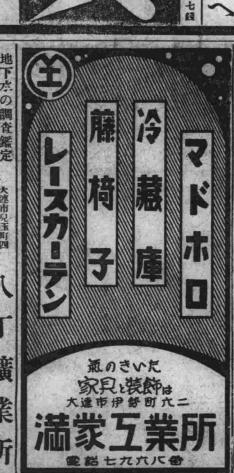
裸は空間とて適出しました。 楽ます。 通つかけて

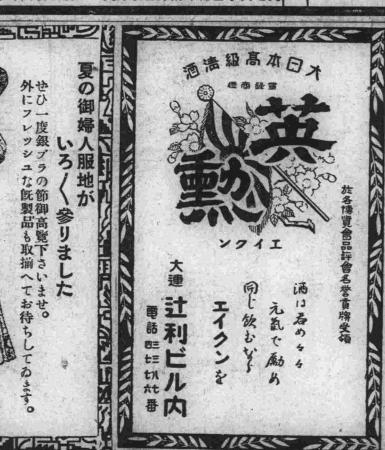
生成にしる、ちょつさ様でおく概にしる少しでもながく生々ささして強く事が最も必要な事であります。そうするには少々位手間のかくる事は恐げればなりません。先づ花屋から「ボを買って来たり、または庭から概を切つて来たならばその整の切り口を少で癒くのですが、火はローソクの火が最もよろしい、そのローソクの火に出来るだけ切って薬の切り日を焼いたならばコーソクの火が最もよろしい、そのローソクの火に出来るだけ切って薬の切り日を焼いたならばコーソクの火が最もよろしい、そのローソクの火に出来るだけ切って薬の切り日を焼いたならばコップに水を入れて側に置いてあるのに一部つけて産に叩き上げるこのコップの水にローソクに火をつける時に側に持つて来て置くべきで、火から糞を縦にしたり切り日を焼いたならばコップに水を入れて側に置いてあるのに一部つけて産に叩き上げるこのコップの水にローソクに火をつける時に側に持つて来て置くべきで、火から糞を取れば直にコップの水につけるのです。そして水で潤らした水きな稀片で切口を包みに出来るだけ切がり口より上の方を焼けて水が乗や梃の方に腹にかって表にしてはなります、その切り日を切り上の方を焼きがですって水を入れて側に置いて水で置くべきで、火から糞を取れば直に加ます。 さ、不意に山の間から大きなロ いゝ氣になつた裸二三人で迫つ 八版

一町錦田神京東

学的事實に就て理解を有する事は、より以上に機味める事であらればならか。山はて其征服感に陶酔するのも勿論愉快であるが、夫れと同時に我等は其間に遭遇する的に解剖せる現代山岳知識の大綜合

定價一冊 一圓五十錢 送料廿七錢 かも知れ れません 冷 子







最上の品質 最新の設備 最古の歴史 シトロン 社會式株酒麥縣戲

井試錐工事應需

1

加茂小學校の御眞影

二十九日はるびん丸で大連河着奉天加茂小學校に奉戴の御真必

日支兩教授の

外送機そのものか基礎さしてある はその緊急を探るここが出来たであら はその緊急を振動に難しよりよ はその緊急を振動に難しよりよ

滿鐵附屬地論

鐵道居留地の地位

武田、加麒、獲崎、史弟、種目 荒木、高。、宮原、中根、加藤 花、高。、宮原、中根、加藤

のメンバー及び競技種目は

奉天で水泳競技

來る八月二日午後

興味を唆る對抗戰

とめたしかるに學生戦の速散後一 2000年のでは、一個などのでは、一個などのでは、一個などのでは、一個などのでは、一個などのでは、一個などのでは、一個などのでは、一個などのでは、一個などのでは、一個などのでは、これには、「一個などのでは、」」では、「一個などのでは、「」では、「一個などのでは、「」」では、「一個などのでは、「」」では、「一個などのでは、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」のでは、」のでは、「」のでは、「」のでは、」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、」のでは、「」のでは、」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、」のでは、「」のでは、「」のでは、」のでは、「」のでは、」の

四十餘名の應接除を得て遊説會の四十餘名の應接除を得て遊覧側は更に

を戒めたが學生側は

おいて排二談談會を催して象勢をいて外質排除の目的で組織されたいて外質排除の目的で組織された

を 撃安航によって民衆の思想が誤らに 養の亦を飛撃し思慮なき寄年の輕 おどり日本の満洲における産業隊 おおくが巡査により振日の不都合を

不便な電話

鬼も角」本植民地に於て唯一の 鬼も角」本植民地に於て唯一の をれてゐるだけ興味を駿つてゐ る

併日運動の裏に

國貨提唱會演説會の

夜に入つての騒ぎ

(四)

境地方の旅

醫大生の研究旅行記

良いと思った事の時位世のがら宿にすべりがら宿にすべり

手幣もしないで一人苦しんでゐる方が多い、それは自らを不幸に導きます。

と共に中駒球をお用ひな

御婦人は多く四条なため恐るべき

婦

八健康相談

0

一般でする、換点にしかみ付きな 「なっとフェの様にくるりさ一回 「なっとフェの様にくるりさ一回

齊々哈朗行きの軽便鐵道は機關

を しこれから書くの本舞楽に入る、 しこれから書くの本舞楽に入る、 しょばん 降る風 から書くの本舞楽に入る、

幸ひ一同大元

時の氏子線代倉舗でも不深の指摘。 からんさ可決され地方事物所理録 をいて物代倉職を開いた結果酸々 本とたのでサ七日午後一時から社 本とたのでサ七日午後一時から社 本となるすめ、こことをなるすめ、 本となるすめ、 を関いた結果酸々 なる人格に防いた。 な人格に防いた。 なんだ。 なんで、 なんで、 なんで、 なんで なんで、 、 なんで、 なんで 祭は神輿渡御を取止め祭典のみと | 「一三四村撲大倉を神社殿の野球グラー 對日態度不良

大日 別は婦人の間に軍大なに係

という。 をはいまさしく引張られるそう になる。「対けでは思数がしたり、 を要してすが、何らししたり、 を要していますが、何らしたら ながれた。 という。 をでは、一般では思数がした という。 をでは、一般では思数がした。 という。 をできないですが、何らしたら ながった。

島の

市內共通勞並に當店吳

門私はことけが大変強くて、局

を常用なさることです。そうを常用なさることです。そうを常用なさることです。そうないまし、中半調のですから特に響生をよりい味ですから特に響生をより

調になり苦痛がなくなります。を常用なさることです、そう

办

日刊ないを元がれてくて何となく既が難く時々月気がなくて何となく既が難く時々以前や時にとしいのですが、何らしたので

呼出しても出ず出ても聞えぬ

長春のこの頃の電話

察納、四日の本祭後は窓総融合第一この種の影響は止まね歳に執行と三日の前夜祭には大弓一重に取締る旨撃明して は、日本代の近く決定した。 ・ である、内に都軍のが後輩にあり、 である、内に都軍立く支へるか、後輩になった。 ・ である、内に都軍立く支へるか、後輩になった。 ・ である、内に都軍立く支へるか、後輩になった。 ・ である、内に都軍のが各選にあり、後輩になった。 ・ である、内に都軍の新陣客誌を活った。 開縦がる選手の病気で往年の中壁の障容であったが今年は減鐵の機

盛な旅順早起會 近頃は中年男女も殖え 毎朝元氣一杯の集り

全國のを教団にあります。中野は大大な単が出来て生れた見ばまた。 であり、文章後の即立かりに に良好であります。中野がりに に良好であります。中野がりに は丈夫

匪賊特別警戒 かの近づくさ共

成功さ云ふべきであらう を始め五十歳前後の者も著るしく を始め五十歳前後の者も著るしく 頼登山する内七十歳以上の一老人 表職警戒班の外舗 に同様であるが毎 大響では來る八月 中將湯は

議録では正副總数及び新任理事 は十八日呼撃したが語る は十八日呼撃したが語る

鐵嶺對奉中

陸上競技

兩軍の陣客

藤田商議會頭歸奉談

鈴木少將後任 一ケ除退れるやう 一学粉の後低さし いなった

往來

教授二十七日

効 主

增加一行十七名 門教授 廿七日

津

村

天

党

○子宮房、〇皿の道、〇ヒステリー、〇所配 一部が変勢、〇不配置、〇世紀記込、〇下型 「衛み、〇下駅沿つり、〇日帝赤帝、〇こしけ 「個別ない。〇世紀記記、〇下型

貴方の類を輝かせます 貴方の類を輝かてし そして麗しい微笑となって なって麗しい微笑となって 產國 銀馬田

症(傷、水傷、鱗齒痛等に効ある。 無管を支が答見、嘔吐、計疾・ ・ 原本、類は、肺結核、肺炎・ ・ 原本、類は、肺結核、肺炎・ 便【金鑫鵬、五百五十粒入金五皿、千二百粒入金拾皿

石炭商·倉庫業

賣 賣 場

張、溜飲、清化 A 頁、食 炎、肋 b 奏、肺 少 加 答兒

千代田生命保險相互會社代理店 特於 火場 構 內 出 張 所特於火海上保險株式會社代理店 軍御用 達 振順朝日町市場內 藤順朝日町市場內 一三二番 ■商三一會

旅順縣 = ^

◇常識ある貴下のお胸のパロメー

食道樂

や理構語

例な 通ぎ 美味で滋養

う

林農園山羊牧 大連市山吹町一〇六

電景系表

山羊の乳 に何よりの榮養料 中山 配節御

電話三服 九店

旅順市乃木町三丁

洋服附屬品些釦類一式 職等 江 屋 吳服店 一、盛夏衣裳(紹小紋ジョウゼットン服)

田村商會順支店

自轉車オニ號 御氣に召ます是非御下命を 値段も安く必ず皆様の

旅 順 商 店 內案

高尚で强い强い

肥すに非ず病氣を治すにあり 服薬の目的は營利業者の財産を

保健協會で實費頒藥を 開始せるヘルスラング

めるでなる を辨むるに至ったもので本郷は際

合のない要を取ったのである、現の

間したい方はやはり本協会

そはり本協會相談部別に翻形會下さい。 保健協會相談部

服みつゝある病者

實費頒藥を開始せる、

0

ヘルスラングは

一圓の

割合て幾週分でも預藥に應ず を許可しているりません故直接本 を許可してからりません故直接本 を許可してからりません故直接本 を許可してがらりません故直接本 を対しているりません故直接本 を対している。

申込の際は住所氏名を明記され、前金は振替申込の際は住所氏名を明記され、前金は一週間分金一回河の計算の外決費五週分迄で一週間分金一回河の計算の外決費五週分迄で一次費三十多種を受する時は、ガキか電報でお申込み下至急を受する時は、ガキか電報でお申込み下至急を受する時は、ガキか電報でお申込み下至。

秘の娘は咯心を三度もしたの

パルスラング 殿用 万要は極度に省さ、ひたすら「薬

と参考になって治肺上の 且の連絡を保つて主難でありますか像な有益な會を設

高價な廣告料を

では野談信製の記憶を無います。

「は野談信製の記憶を動きます。

「は野で分離するを展表では野歌の選手ないのはは数しますが、若しは数しますが、若しなのでのです。」

「の野野で分離するのではお甲で、一週間分一個地域のです。」

「は数しますが、若し、数にの場合食感を無い、の子に必るだら、質し、なっしたものです。」

「に最限の中に置入り、たとしても後で割に、たることが多いから、たとしても後で割に、たることが多いから、たとしても後で割に、たることが多いから、たとしても後で割に、たることが多いから、たることが多いから、たとしても後で割に、たることが多いから、たることが多いから、ために、できることが多いから、ために、できることが多いから、ために、できることが多いから、ために、できることが多いから、ために、できることが多いから、ために、できることが多いから、ために、できることが多いから、ために、できることが多いから、ために、できることが多いから、ために、できることが多いから、ために、できることが多いから、ために、できることが多いが、一切に、できることがあります。

効果と信用な事門

ヘルスラングの

體験談を募る

御尋ねに答って

話下谷四一 一四三番 買頒樂部

東京市外上尾久二七三一番地(王子電車館の前下車)

高 週分五圓拾圓と不當に 價な肺病薬に警戒せる 八の心理を巧に利用せる賣藥業者

高價なる故良薬に非ず高價なる故良薬に非ず高價なる故良薬に軽べてよく効くが如くであるないではない、が薬物に於ては一般的なができる、又さらしたいよが如き報別を下すは至敵にしてかつとといよが如き報別を下すは至敵にしてかつとといよが如き報別を下すは至敵にしてかつとといよが如き報別を下すは至敵にしてかつとといよが如き報別を下すは至敵にしてかつとといよが如きを持ちない。 樂九層倍の暴利を貪る不良賣樂

既々職色が耐くなつて来る交響人

それに少し戦動すると思

とは季地上一覧の疑ひもないところであり なから間傾のために斃れる者が我國に於て年 なから間傾のために斃れる者が我國に於て年 を十二萬人以上を験するは別も何を融るか何 と出版するか、然してこれらの死亡者も任前 に出版するか、然してこれらの死亡者も任前 ヘルスラングの偉効

確つたひとの初めは徴伏

惡寒、發熱、

胸の痛み

は野野な観察がある あれば直に眠に多り又賦に 海楽 つくのでつまり賦と があれば歌ら歌蝶へゆくといら星 でしてある、瞬間土 世る脈襞炎であるが脱喉炎には歌なりでこれを繋へて見 性脱膜炎 (一名脈解)の三尾あるがと 散がしてま 中、原質酸(一名脈解)の三尾あるがと 散がしたなつて からに験になる玉 一種の形態炎であるが脱喉炎には歌ないの思いたること を からいと歌窓にな かいと歌で起る外閣談談が、 化酸性脱 な からいと歌窓にな かいと歌で起る外閣談談が、 化酸性脱 な かいと歌で起る外閣談談が、 化酸性脱 しい からいと歌窓にな かいと歌で起る外閣談談は一番 地からいと歌窓にな かいと歌で起る外閣談談がは一番 地からいと歌窓にな かいと歌で起る外閣談談が、 他酸性脱 しい

ある人々は多く肋膜炎 がから、別様である。 上海であるがから、又思想はそれを設めていこともない。こればなら我気はそれを表しないこともない。こればなら我気はそれを表しないこともない。こればなら我気はそれが認に一般であるが、こればなら我気はそれが認に一期三期と症状とであるが、これが変やのない。 ままで治者が変や少くなかった標であるが、これが変して過ぎれてもので変に治療にニ年も一といよのが感染の健康であるが、しませても一といよのが感染の健康であるが、しませても一般では関係によったが、以前はなくて滑む様になったが、以前はなくて滑む様になったが、以前はなくて滑む様になったが、以前はなりであるがの認められる。

寢汗は肺病の第一症狀

初期二期三期の徴候

思者は病狀に對するハッキリした

知識を得て然る後對策を講ぜよ

| となく無対か勝れ ポコンといふ感いといふ ると丁度太鼓でも吓く標にポコンとなく無対か勝れ ポコンといふ感な情がな音を軽す といふ様な事合 る、この調だは緊性空洞と解しるといふ感な事である。他の上葉は突のあたりに田水るを設して来る。略談 期に間やある事であるが然して死にといふ様が下ローした。といふ様な危険な根態はこの第三十七れがドローした。といふ様な危険な根態はこの第三十七れがドローした。といふ様な危険な根態はこの第三十七れがドローした。といふ様な危険な根態はこの第三十七れがドローした。といふ様な危険な根態はこの第三十七れがドローした。といふ様な危険な根態はこの第三十七十分の様にであるから患者はようして服実治験に従いる。これは優合三期と難も大概治されていると、空間状態のが、現場の様にようと、空間状態を考慮して服実治験に従います。

肋膜と肺の關係

が十二歳人と称される有様で、 が十二歳人と称される有様で、 が十二歳人と称される有様で、 が十二歳人と称される有様で、 が十二歳人と称される有様で、 が一点が、 が一の、 が一の。 が一の、 が一

肺患に惱む諸氏

一日の手遅れは千秋の悔となるべし一日の手遅れは千秋の悔となるべし一大のもごに原料藥の實費預藥開始せるは結核治療上に革新の垣火を點じたるも同様で全國幾多の肺患者諸氏より寄せらる。感激を開始を指導服用中の初期二期三期の患者諸氏より寄せらる。感激に依つて、あなたの肺臓を一歩々を触みつゝ遂に悲惨の底に追いやる縞核菌を完全に驅逐されよ、それはあなた自身の爲めばかりでなくあなたの周圍の人々に對しても今が好機です、かりでなくあなたの周圍の人々に對しても今が好機です、かりでなくあなたの周圍の人々に對しても今が好機です、かりでなくあなたの周圍の人々に對しても今が好機です、かりでなくあなたの周圍の人々に對しても今が好機です、かりでなくあなたの周圍の人々に對しても今が好機です、かりでなくあなたの周圍の人々に對しても今が好機です、かりでなくあなたの周圍の人々に對しても今が好機です、かりでなくあなたの周圍の人々に對しても今が好機です、かりでなくあなたの周圍の人々に對しても今が好機です、かりでなる。

快走する

日元氣で來朝

中は断えず

語る

木浦着

士權大會

二日目取組

應奉遼被聲 順天陽山口 東彌東南永 六生祥三世

ひの山口高校出て、井闢さんが 泉だが、この三人が集つて學生 身だが、この三人が集つて學生

ベビーゴルフを

常盤橋瓦斯會社前 ゴルフ提

和

成功を祝 するさ無理の辞 偵察機二

[]出羽嶽

東ノ 里(おも倒と)錦 華山 大ノ 里(おも倒と)錦 華山 大ノ 里(おも倒と)錦 華山 たかなか動かで返って押と返すなかなが動かで返って押と返す

したない。

九八四四店

是多一

电新六 五〇二番 科科科

観光局の計 婦産内

上高地に

行

ポカ

夕

30 1 4 0 3 11 8 27 10 2

生活を放送

ましたが」 さ高橋さん。 で門穏や厳告徴税刺し位はやり さしたが」 さ高橋さん。

מנונית 远 壁 達 價格低廉 スス富山

三四 四

凿五

士權を獲得

内地水西瓜を始めました

(御一人前山盛十五錢) トキワ橋の果物店

南海洋行喫茶部

里二日目の



咽耳 喉鼻



大連で最も理想的なリンクは中央



の離は、全く見出されなかつた。のでは、全く見出されなかつた。 しれない。 では、他時か五時五十分になってるた で出した。 さうだ、 臓にか悪罪を かんにされた 繋がのコップ で出した。 さうだ、 臓にか 愚罪を ないてるるのだ。 いらくして 立ち

失って構立ちになった。今法書後としたが、彼は突然共處に動きを 別されている。 別述りに費つた土産技で除し 大連 水野 送迎の巌禮が多い定期船 大連 水野

が、カウンタアの上の極難の見懸いた異の形に、彼は見響えていてもなかったが、そのが語が熱心に彼を おうな暗さなた、へたが長な眼や心は見響とな験に、彼は見響えがあったが、そのが語のではである。着物、見いたの見いた。

を見た。「変性の素を云つて時間をあしらひながら、若い女の脳といって変性の素を云って楽さいない。大さして軽水は高をテーブルに言えつて来た。ハッとして軽水は高をテーブルに言えつて来た。ハッとして軽水は高をテーブルに高して、一つ先のテーブルに離せれた。が、女の脳は彼の側をすることでは、アイスクリームを命じて、これたのテーブルに離せれた。

した骨石のホールは夏の午後五時 の斜陽を反映して、内の空線を縮

夏の夜の船から洩れる安本節 現体で出船のテープちつさへり 親子窩 野田杏樹房 たさらして三等餘榮見せ

沙州

甲板で惚れた同志は月かほめ
全朝の船失意得意の賑やかさ 川柳募集課題 ・ 本質五句限、必ずい紙の ・ はて

幸校

日

宛大連市能登。十高橋川南

はなさなかった。なほぞから歌なかけできたかけで、一番に主義などとこれのはあの女性をはなられかった。 一種に手織などこれのはあの女性に見しても野なかけできたが、それは関けてきず味いたが、それにしているがある」

本なの簡単

理"

我们,

ではありま

だる突撃に越極しながら、火しあ

氏子蓉村梅 话日 氏稔 田高 竹松 氏技菊上尾 家願舞 氏雄松野綱 家蜀拳 氏平晋山中 家曲作

ります。故に

又飲料中の最高美味として 天下に冠絶する學理的根據

酸カルシウムこを配して酸酵醸造したものであれていた。これでは、一次に酵母こ乳酸菌こを加へ、糖類こ乳料とし、之に酵母こ乳酸菌こを加へ、糖類こ乳料とし、之に酵母こ乳酸菌こを加へ、糖類こ乳料とし、之に酵母こ乳酸菌こを加へ、糖類こ乳料とし、大乳、牛乳其の、大乳、牛乳其の、大乳、牛乳、牛乳、 な失敗に終りました。 人アリストテレス以來二千年、幾多の學者が之れを研究してみ 「人間が何か一品だけで活きて行ける食物はないか」希臘の哲

であって、それは我等の舌が之を判定して近れが、確かに九○%以上であることは萬人の嗜好と賞讃さが之を證明します。蓋し、人體の要好と賞讃さが之を證明します。蓋し、人體の要の具合によって一樣ではありませんが、畢竟自己の嗜好に最も適するものが衞生上一等役立つのであって、それは我等の舌が之を判定して近れる。 を滅殺する乳酸、活力を附與するヴィタミンなど何れも完全にを滅め、人體の熱源となり動力となる諸種の糖類、勝胃の病菌を初め、人體の熱源となり動力となる諸種の糖類、勝胃の病菌を減め、人體の熱源となり、受性細胞の成分となる高級のカルシウムの大量の表別の強力となる高級の蛋白 含まれてゐます。

飲料に勝つて賞讃されるのは全く如上の理由に りません。